

平成24年度外国人看護師候補者受入れ施設巡回訪問実施結果について

公益社団法人国際厚生事業団は、EPAによる外国人看護師・介護福祉士候補者の受入れ状況の確認、就労・研修に関する助言を行うため、巡回訪問を実施しています。具体的には、受入れ体制、研修体制、候補者の現状等を把握するため、面談及び調査票を用いて実施しています。今般、その実施結果を取り纏めましたので、お知らせいたします。

1. 巡回訪問実施期間・対象

(1) 時期 平成24年4月25日から平成25年1月28日迄

(2) 対象 受入れ責任者・担当者、研修責任者、候補者に対して、質問票を配布。
(回答数:81施設、候補者177名)

(施設)

平成22年度看護師候補者受入れ施設(40施設)

平成23年度看護師候補者受入れ施設(55施設)

平成22年度と平成23年度看護師候補者の重複受入れ施設(14施設)

(候補者)

平成22年度インドネシア人看護師候補者(32名)

(就労研修開始日:平成22年12月4日)

平成22年度フィリピン人看護師候補者(34名)

(就労研修開始日:平成22年10月29日)

平成23年度インドネシア人看護師候補者(45名)

(就労研修開始日:平成24年1月6日)

平成23年度フィリピン人看護師候補者(66名)

(就労研修開始日:平成23年11月17日)

2. 巡回訪問実施内容

(1) 受入れ責任者・担当者に面談のうえ、主に以下の事項について確認。
回答は、施設ごとに回収(回答数81件)

- ・職場・生活適応状況(ボランティア利用状況、ホームシックの有無 等)
- ・候補者受入れによる影響(サービスの質、職場や利用者への影響 等)
- ・受入れ側からの各候補者の現状(労務慣行等への順応、住居 等)

(2) 研修責任者(日本語学習指導者を含む)に面談のうえ、主に以下の事項について確認。回答は、候補者ごとに回収(回答数177件)

- ・就労の状況(業務内容、職場でのコミュニケーション 等)
- ・日本語研修の取組み状況(研修時間、学習方法 等)
- ・国家試験対策の取組み状況(研修時間、学習方法 等)

(3) 候補者に面談のうえ、以下の事項について確認を実施。回答は、候補者ごとに回収(回答数177件)

- ・職場適応状況(労務慣行等への順応、日本語習熟状況 等)
- ・メンタルヘルス・健康(不安に感じている事柄の有無、健康状態、食事 等)

(4) 日本語テストを実施のうえ、研修の進捗状況について確認。受験者数は173名(全177名)。

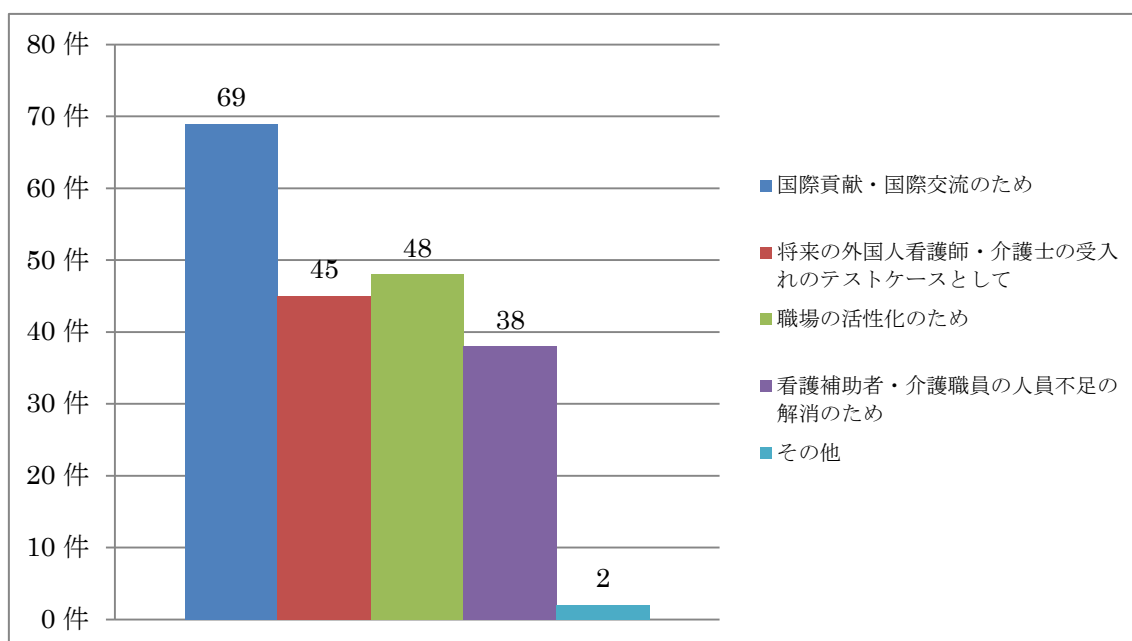
1. 受入れ責任者及び担当者への質問

(1) 候補者の受入れによる施設への影響について

①EPA候補者を受け入れた理由について

「EPA候補者を受け入れた理由」について質問したところ、「国際貢献・国際交流のため」という回答が69件あった。(図1-1)

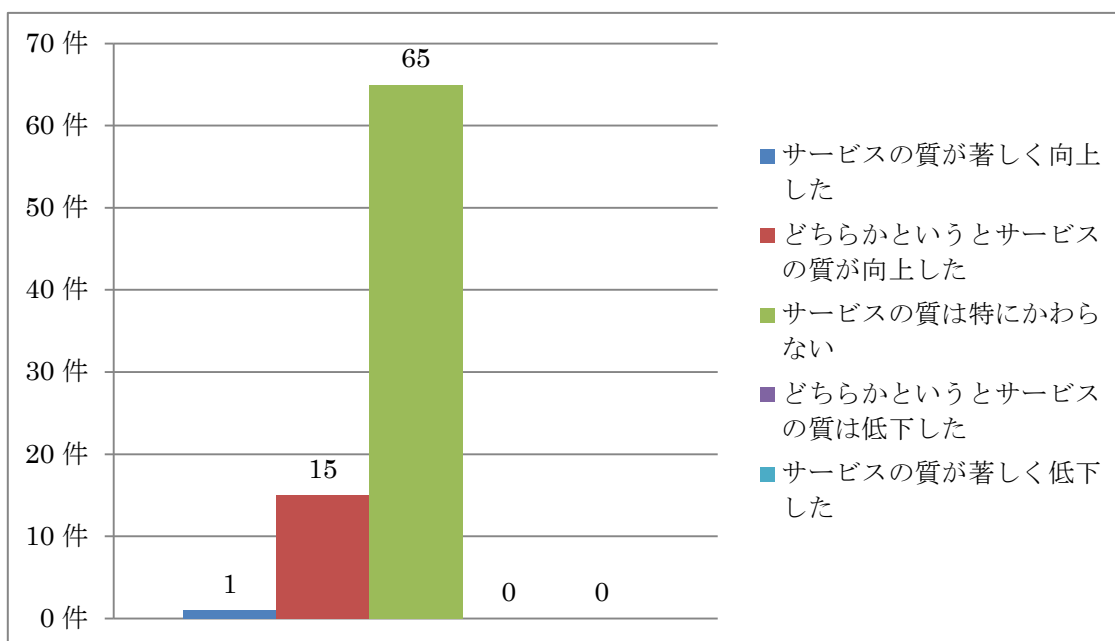
(図1-1) 候補者の受入れ目的について【複数回答】



②施設が提供するサービスの質への影響について

「施設が提供するサービスの質への影響」について質問したところ、「サービスの質は特にかわらない」という回答が65件、「どちらかというとサービスの質が向上した」という回答が15件、「サービスの質が著しく向上した」という回答が1件あった。(図1-2)

(図1-2)施設が提供するサービスの質への影響について

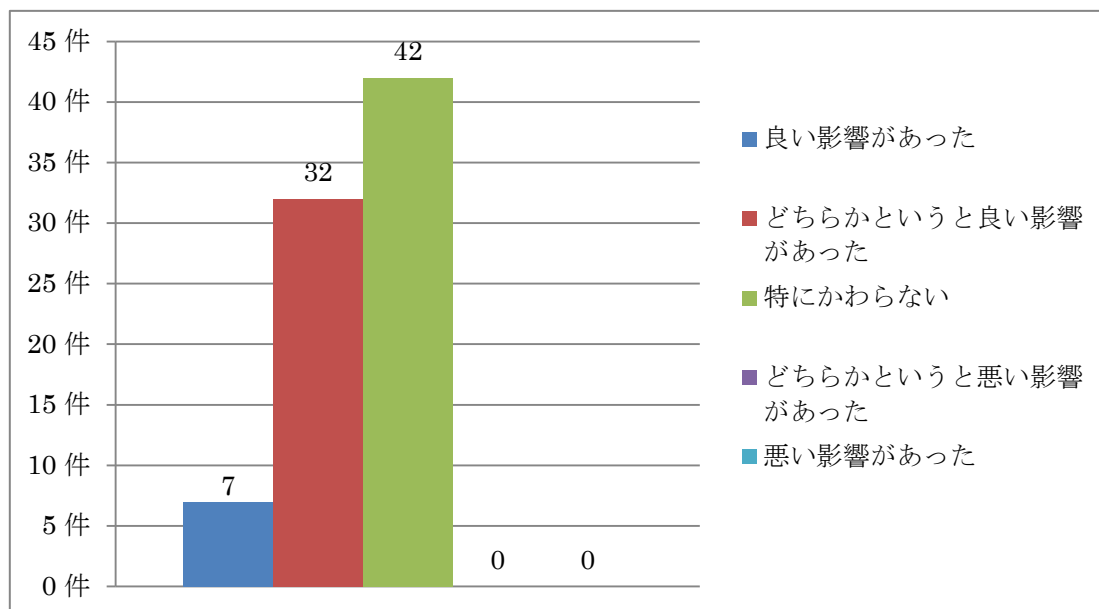


※なお、「候補者が行う業務に関連した事故や問題の有無」について質問したところ、「ない」という回答が81件、「ある」という回答が0件であった。

③日本人職員への影響について

「日本人職員への影響」について質問したところ、「特にかわらない」という回答が42件、「どちらかというの良い影響があった」という回答が32件あった。(図1-3)

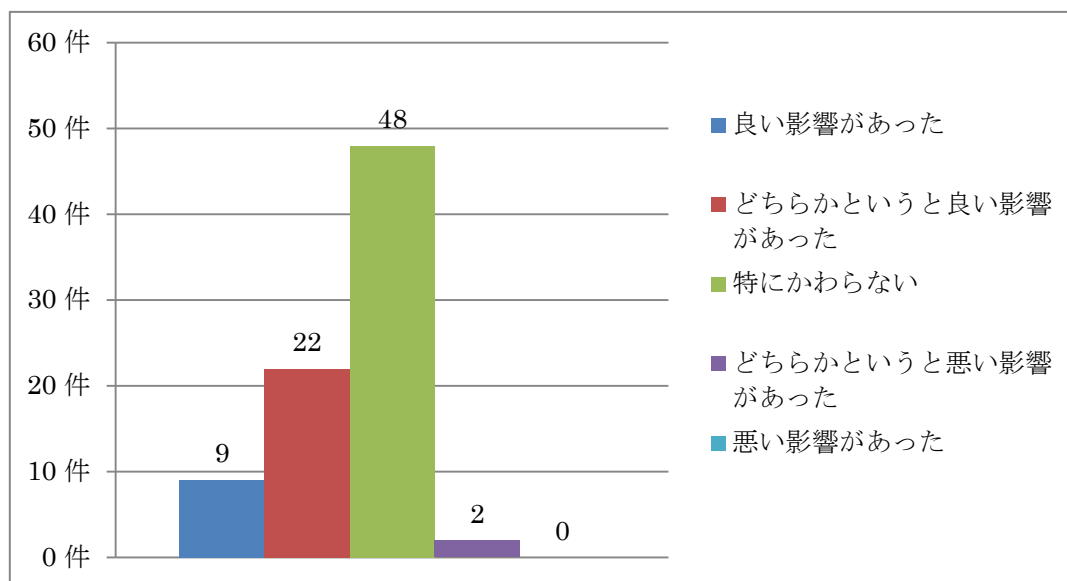
(図1-3) 日本人職員への影響【複数回答】



④職場環境への影響について

「職場環境への影響」について質問したところ、「特に変わらない」という回答が48件、候補者がいることで「どちらかというの良い影響があった」という回答が22件あった。(図1-4)

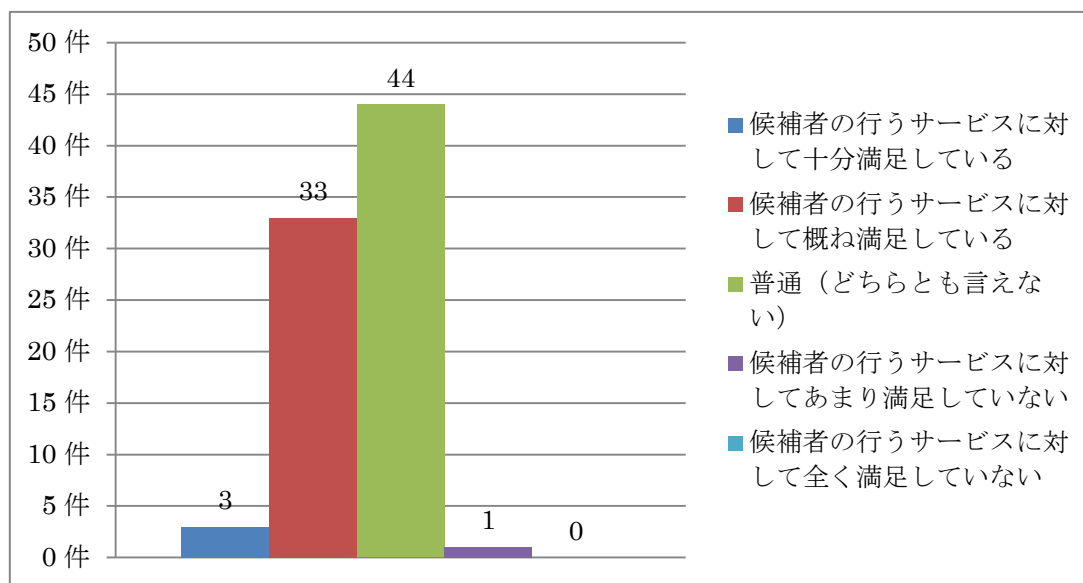
(図1-4) 職場環境への影響



⑤患者・利用者への影響について

「患者・利用者への影響」について質問したところ、「普通(どちらともいえない)」という回答が44件、「概ね満足している」という回答が33件、「十分満足している」という回答が3件あった。(図1-5)

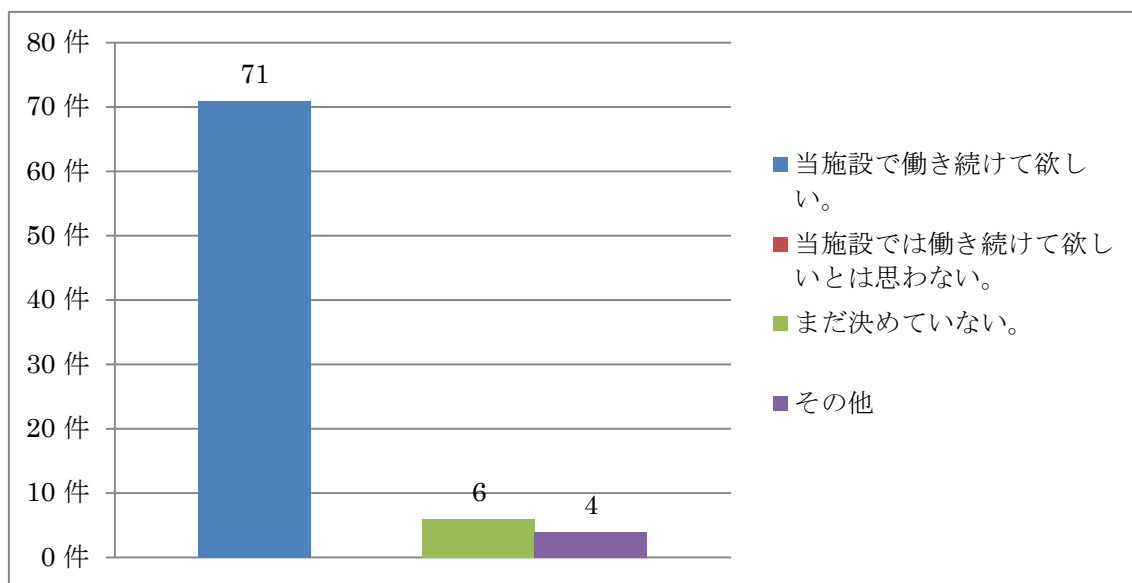
(図1-5)患者・利用者への影響について



⑥国家試験合格後の候補者について

「国家試験合格後の候補者の処遇」について質問したところ、「当施設で働き続けて欲しい」という回答が71件、「現時点では、合格後の処遇については考えていない」という回答が6件、「その他」という回答が4件あった。(図1-6)

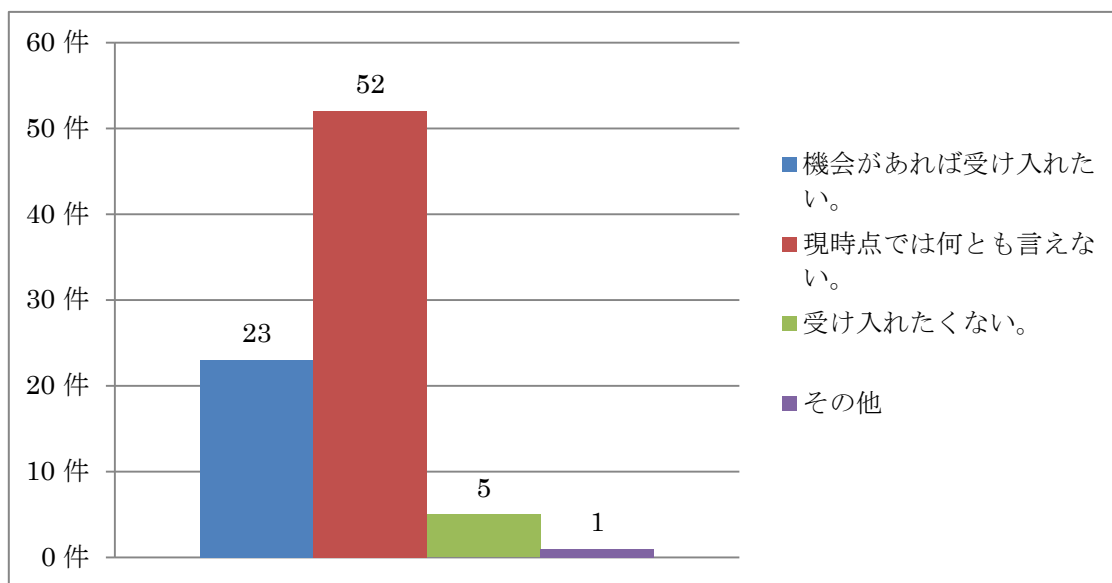
(図1-6) 国家試験合格後の候補者の処遇



⑦新たな候補者の受入れについて

「新たな候補者の受入れ」について質問したところ、「現時点では何とも言えない」という回答が52件、「機会があれば受け入れたい」という回答が23件、「受け入れたくない」という回答が5件あった。(図1-7)

(図1-7) 今後、新たな候補者の受入れ

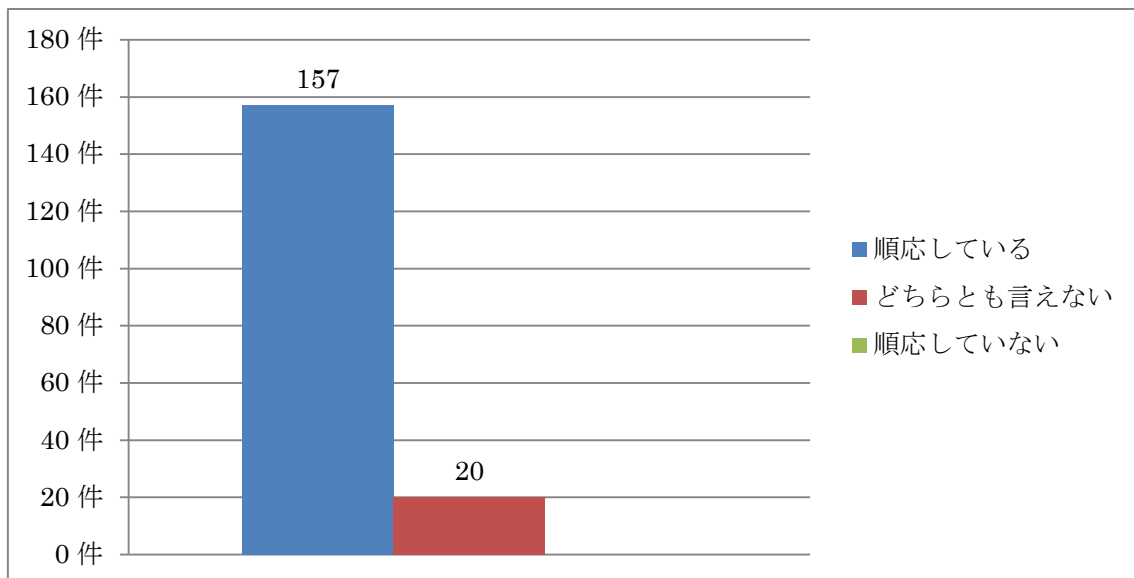


(3)各候補者の職場適応について

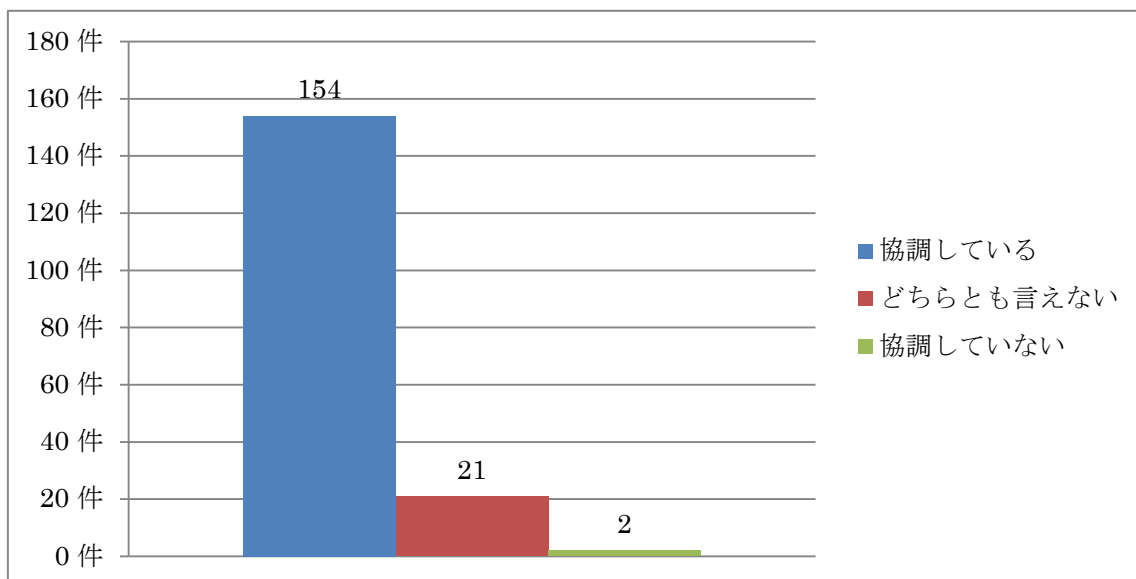
候補者177名について、①「候補者は、日本の風俗習慣、雇用慣行等を理解し、順応していますか」、②「候補者は、従業員と協調し、職場に溶け込んでいますか」、③「候補者は、欠勤、遅刻等はなく、規律を遵守していますか」、④「候補者は、生活環境の変化、制約等の中で精神的・経済的に自立していますか」、⑤「候補者に、気分が落ち込む、ホームシック等、情緒不安定な様子がありますか」の5点を、受入れ責任者及び担当者に質問した。

①「順応している」という回答が157件(図1-8)、②「協調している」という回答が154件(図1-9)、③「遵守している」という回答が168件(図1-10)、④「自立している」という回答が160件(図1-11)、⑤「不安定な様子はない」という回答が142件あった(図1-12)。

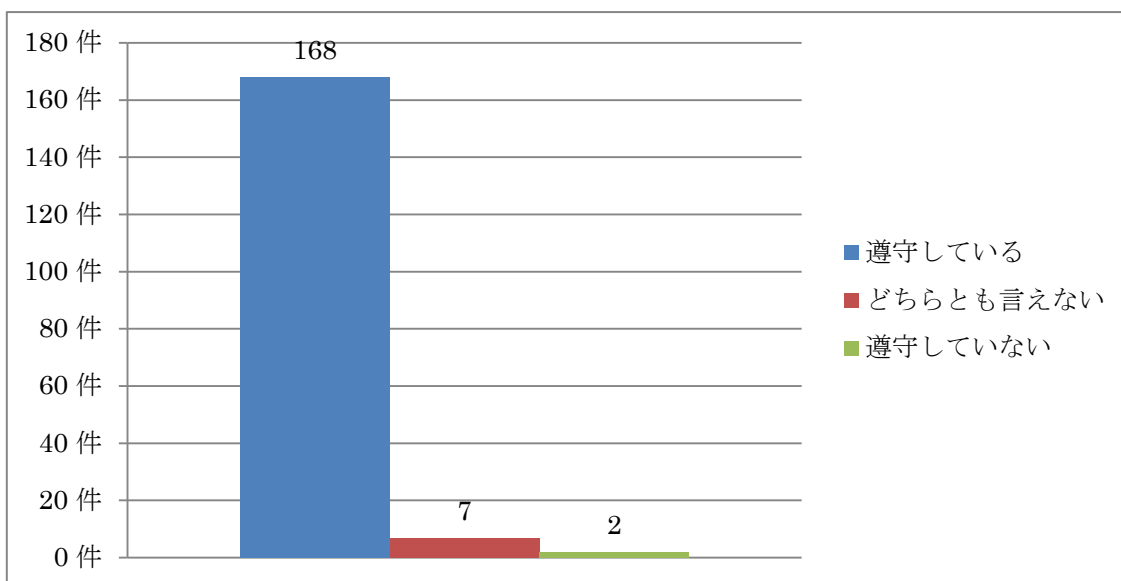
(図1-8)労働習慣等への順応



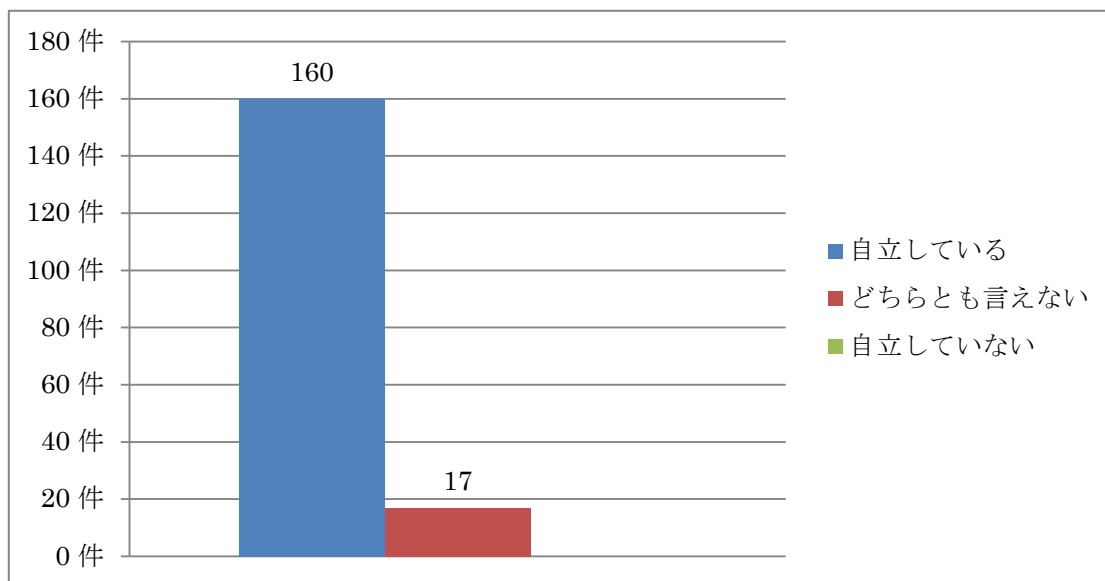
(図1-9)他の従業員との協調



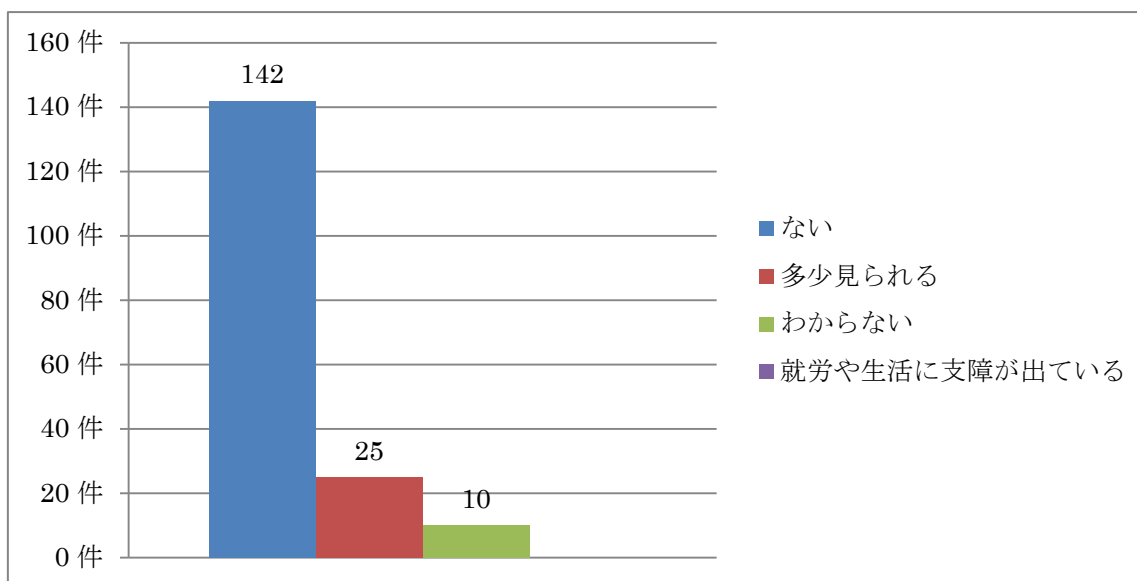
(図1-10)就業規則等の規律の遵守



(図1-11)精神的・経済的な自立



(図1-12)情報不安定な様子の有無

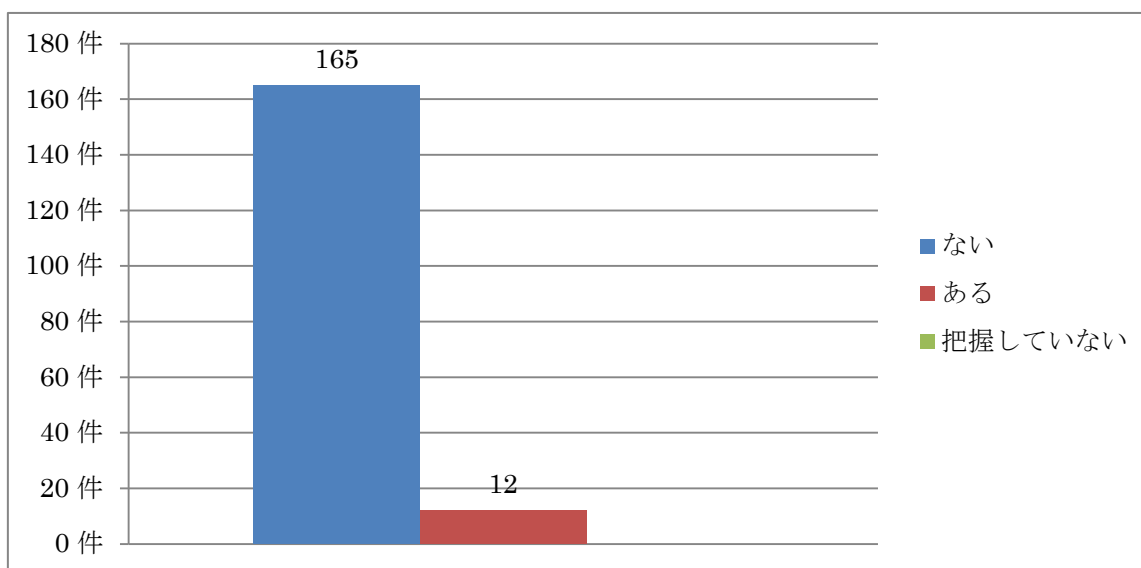


(4)各候補者の住居施設について

候補者177名の住居、設備の使用・管理に関する問題について質問したところ、「問題はない」という回答が165件、「問題がある」という回答が12件となっている(図1-13)。

また、携帯電話の所有状況、住居のインターネット環境について、それぞれ質問したところ、携帯電話を「持っている」という回答が165件(図1-14)、環境が「整っている」という回答が176件あった(図1-15)。

(図1-13)住居に関する問題

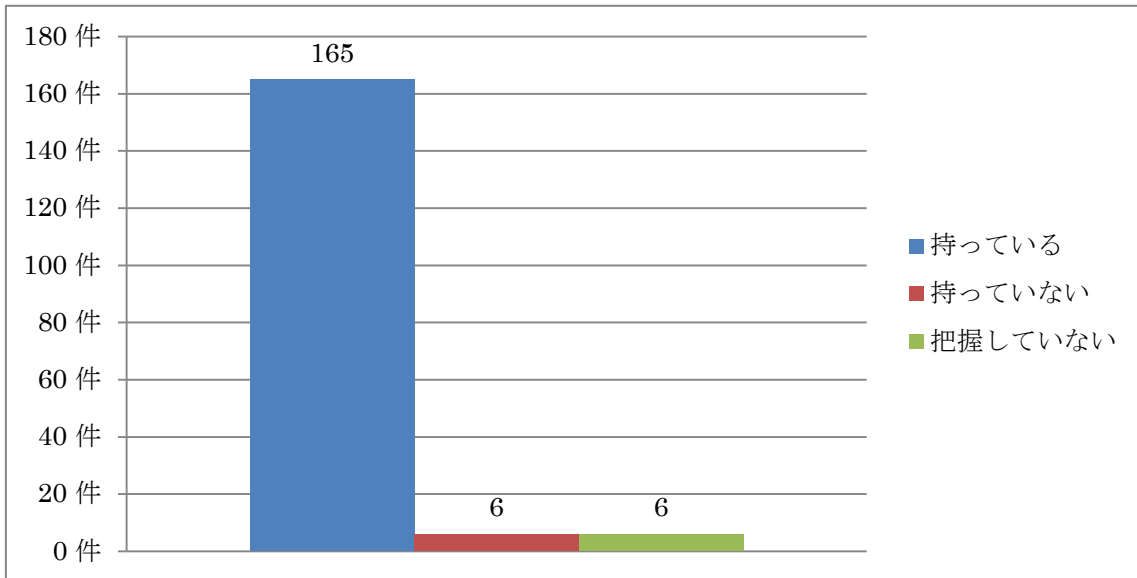


回答	ない	165件
	ある	12件
	把握していない	0件

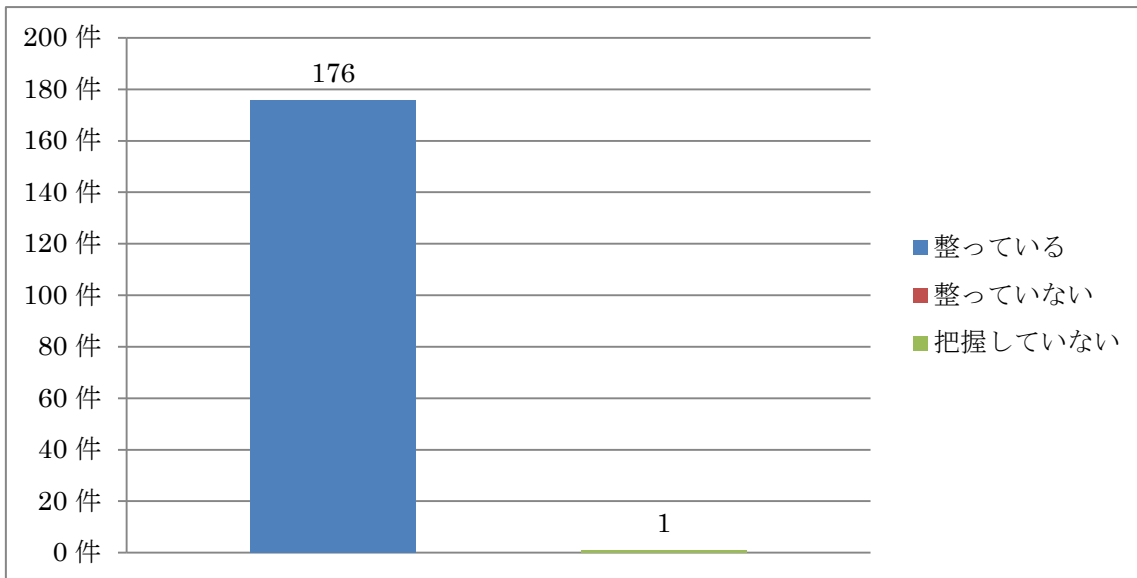
※「問題がある」と回答した12件の内容について

内容	件数
古い建物なので、故障なども多かった。施設側で、その都度、業者に依頼し対応してもらっている。	1施設(3名)
掃除が不十分な候補者が多い。特に台所の油汚れ、床の油汚れが気になる。施設側で、その都度、掃除の徹底を指導している。	1施設(5名)
複数人受入れのため、使用する家電用品の使い方で揉めることがある。施設側で使用ルールを定めた。	1施設(3名)
寮の水が井戸水であるため、使用量が限られている。施設側の費用で地水調査を実施して、掘削を予定している。	1施設(1名)

(図1-14)携帯電話の所有



(図1-15)インターネット環境



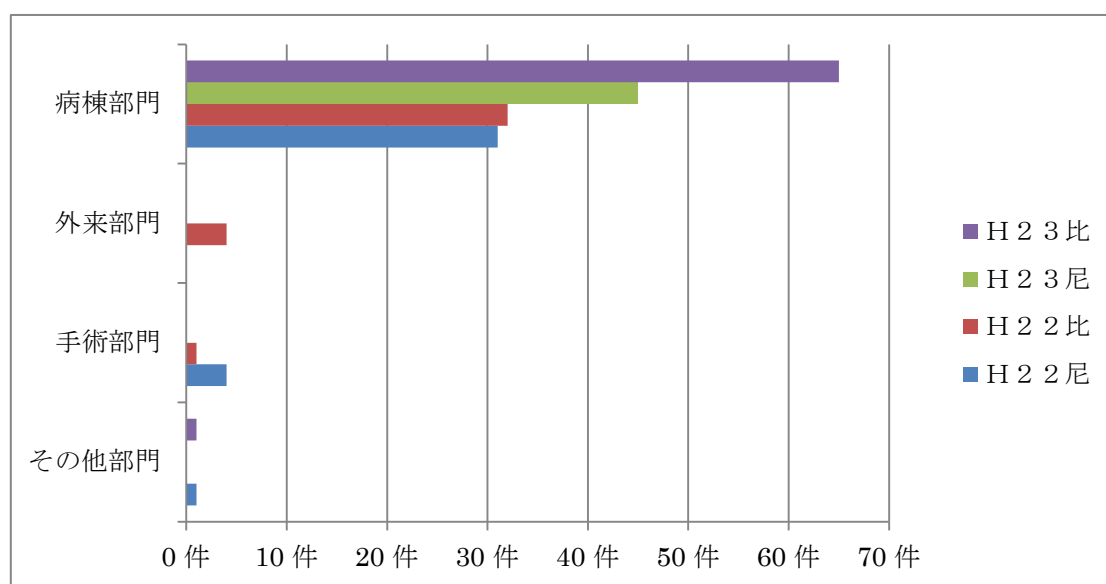
2. 研修責任者への質問

(1) 候補者の業務について

① 候補者の主な配属部門について

「候補者の主な配属部門」について質問したところ、平成22年度インドネシア人候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)のいずれにおいても、「病棟部門」という回答が多かった(順に31件、32件、45件、65件)。(図2-1)

(図2-1) 候補者の主な配属部門【複数回答】



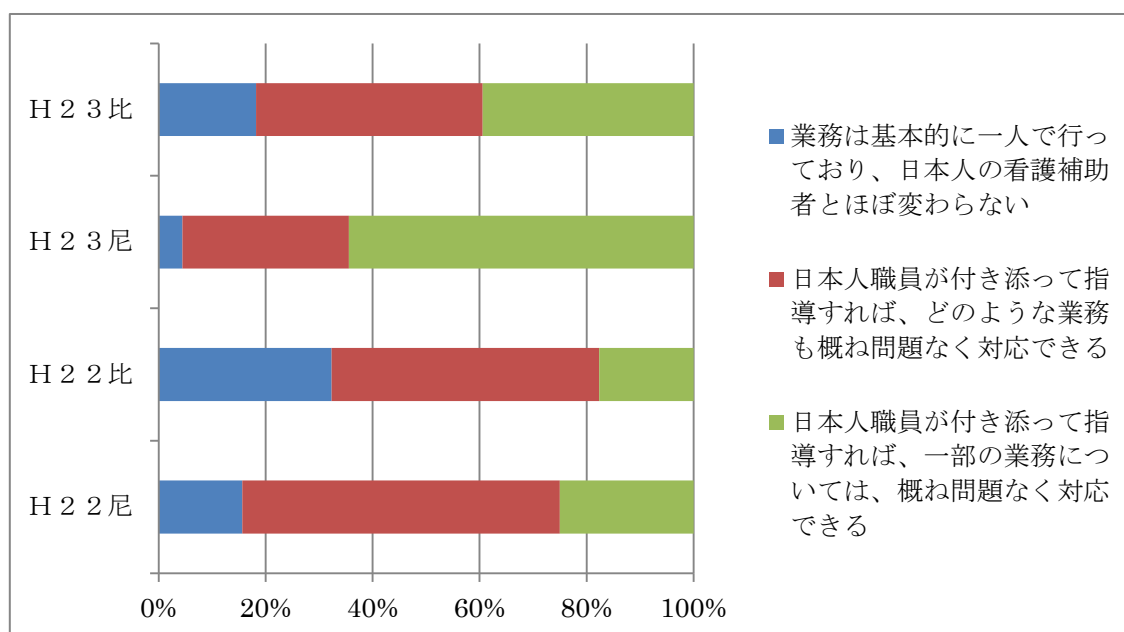
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
病棟部門	31件	32件	45件	65件	173件
外来部門	0件	4件	0件	0件	4件
手術部門	4件	1件	0件	0件	5件
その他部門	1件	0件	0件	1件	2件

②候補者が行っている業務の状況について

「候補者の行っている業務の状況」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「日本人職員が付き添って指導すれば、どのような業務も概ね問題なく対応できる」という回答が多かった(順に19件、17件、28件)。

これに対して、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)については、「日本人職員が付き添って指導すれば、一部の業務については、概ね問題なく対応できる」という回答が多かった(29件)。(図2-2)

(図2-2) 候補者が行っている業務の状況

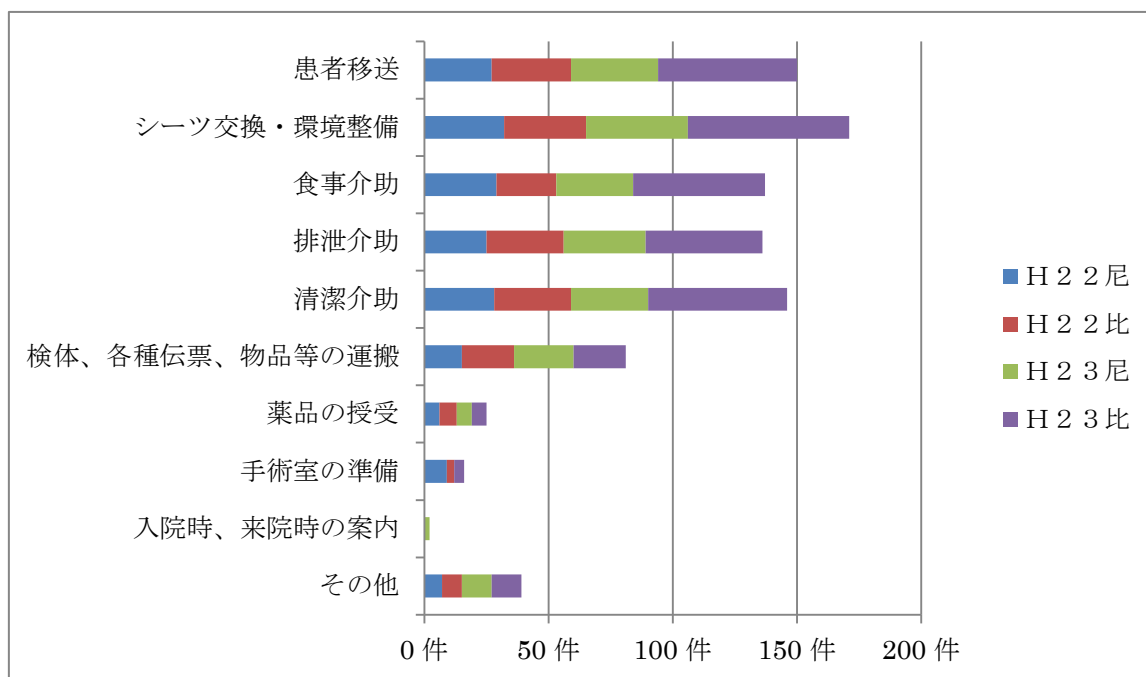


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
業務は基本的に一人で行っており、日本人の看護補助者とはほぼ変わらない	5件	11件	2件	12件	30件
日本人職員が付き添って指導すれば、どのような業務も概ね問題なく対応できる	19件	17件	14件	28件	78件
日本人職員が付き添って指導すれば、一部の業務については、概ね問題なく対応できる	8件	6件	29件	26件	69件

③概ね問題なく対応できる業務について

「候補者が概ね問題なく対応できる業務」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)のいずれにおいても、「シーツ交換・環境整備」という回答が多かった(順に32件、33件、41件、65件)。(図2-3)

(図2-3)概ね問題なく対応できる業務【複数回答】

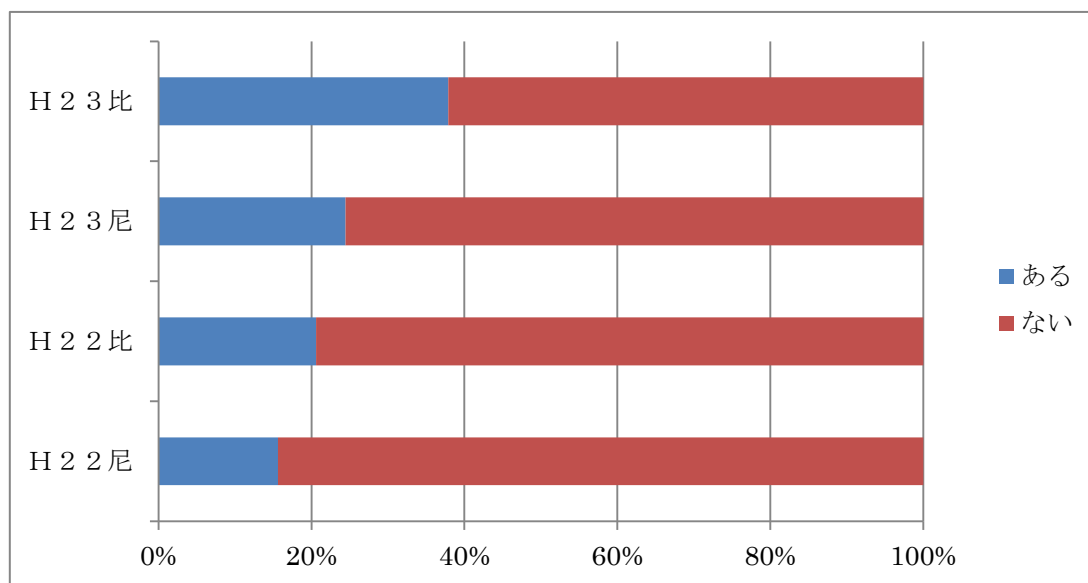


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
患者移送	27件	32件	35件	56件	150件
シーツ交換・環境整備	32件	33件	41件	65件	171件
食事介助	29件	24件	31件	53件	137件
排泄介助	25件	31件	33件	47件	136件
清潔介助	28件	31件	31件	56件	146件
検体、各種伝票、物品等の運搬	15件	21件	24件	21件	81件
薬品の授受	6件	7件	6件	6件	25件
手術室の準備	9件	3件	0件	4件	16件
入院時、来院時の案内	0件	0件	2件	0件	2件
その他	7件	8件	8件	11件	34件

④今後、候補者が従事する業務を見直す予定について

「今後、候補者が従事している業務を見直す予定」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「ない」という回答が多かった(順に、27件、27件、34件、41件)。(図2-4)

(図2-4) 今後、候補者が従事する業務を見直す予定

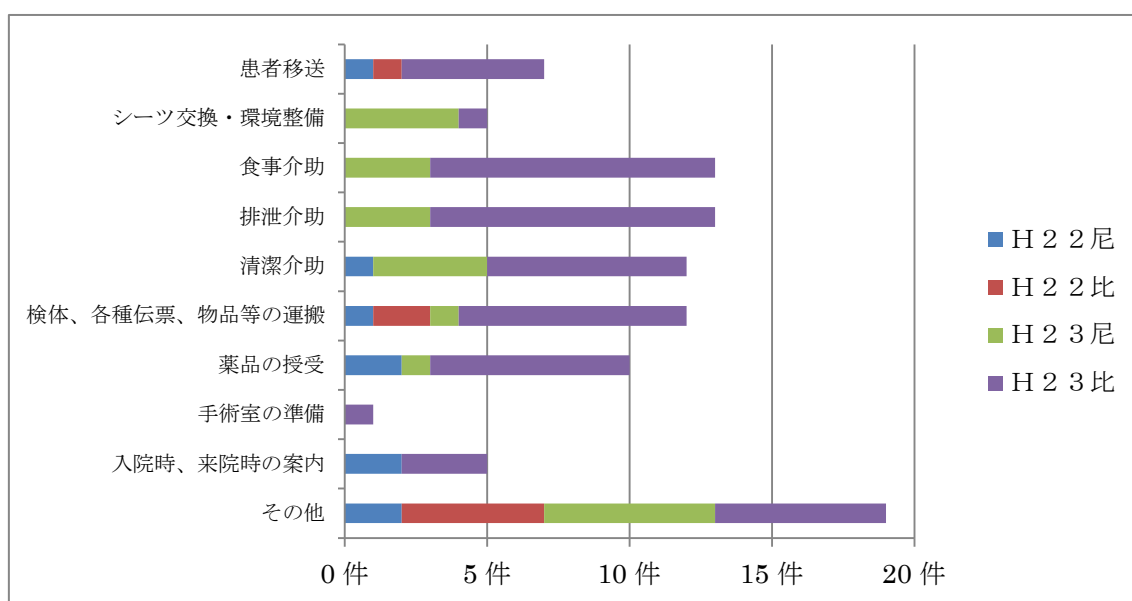


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
ある	5件	7件	11件	25件	48件
ない	27件	27件	34件	41件	129件

⑤今後、予定している業務について

「今後、予定している業務」について質問したところ、「その他」という回答を除き、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)については、「薬品の授受」(2件)、「入院時、来院時の案内」(2件)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)については、「検体、各種伝票、物品等の運搬」(2件)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)については、「シーツ交換・環境整備」(4件)、「清潔介助」(4件)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「食事介助」(10件)、「排泄介助」(10件)という回答が目立った。(図2-5)

(図2-5) 今後予定している業務【複数回答】

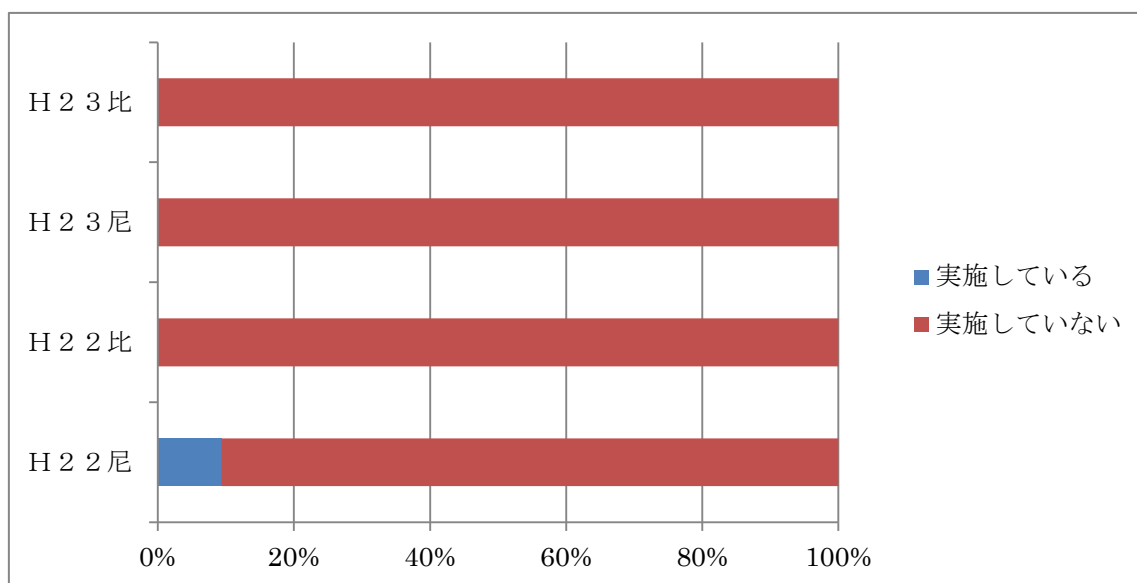


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
患者移送	1件	1件	0件	5件	7件
シーツ交換・環境整備	0件	0件	4件	1件	5件
食事介助	0件	0件	3件	10件	13件
排泄介助	0件	0件	3件	10件	13件
清潔介助	1件	0件	4件	7件	12件
検体、各種伝票、物品等の運搬	1件	2件	1件	8件	12件
薬品の授受	2件	0件	1件	7件	10件
手術室の準備	0件	0件	0件	1件	1件
入院時、来院時の案内	2件	0件	0件	3件	5件
その他	2件	5件	6件	6件	19件

⑥夜勤の実施状況について

「夜勤の実施状況」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人候補者(計66名)のいずれにおいても、「実施していない」という回答が多かった(順に、29件、34件、45件、66件)。(図2-6)

(図2-6)夜勤の実施状況

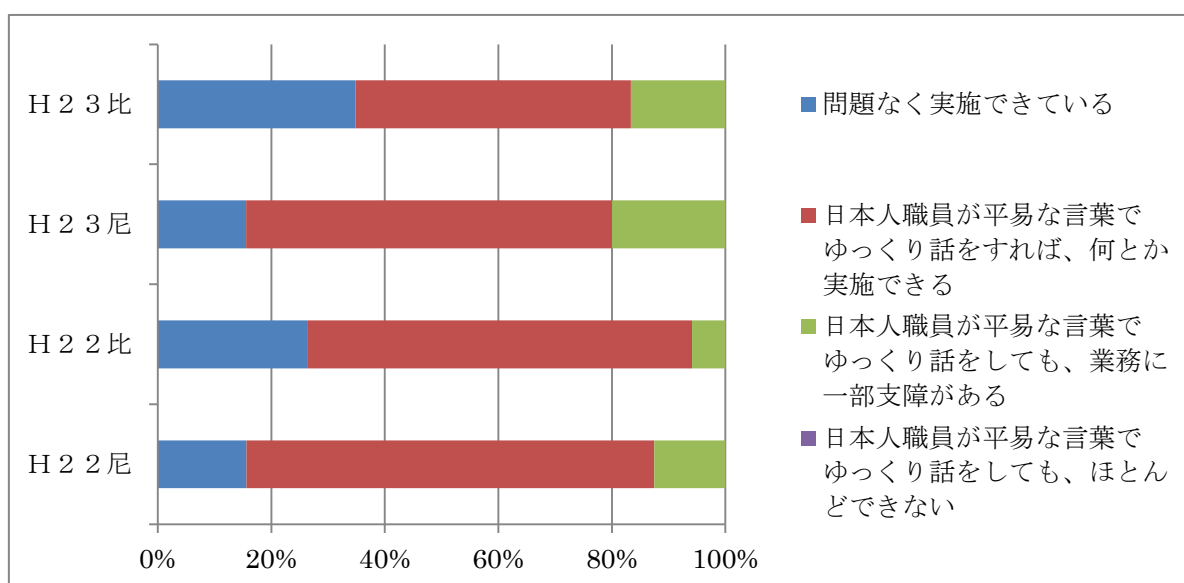


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
実施している	3件	0件	0件	0件	3件
実施していない	29件	34件	45件	66件	174件

⑦看護師等からの指示(口頭)の理解度と指示の実施状況について

「看護師等からの指示(口頭)の理解度と指示の実施」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)のいずれにおいても、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、何とか実施できる」という回答が多かった(順に、23件、23件、29件、32件)。(図2-7)

(図2-7)看護師等からの指示(口頭)の理解度と実施状況



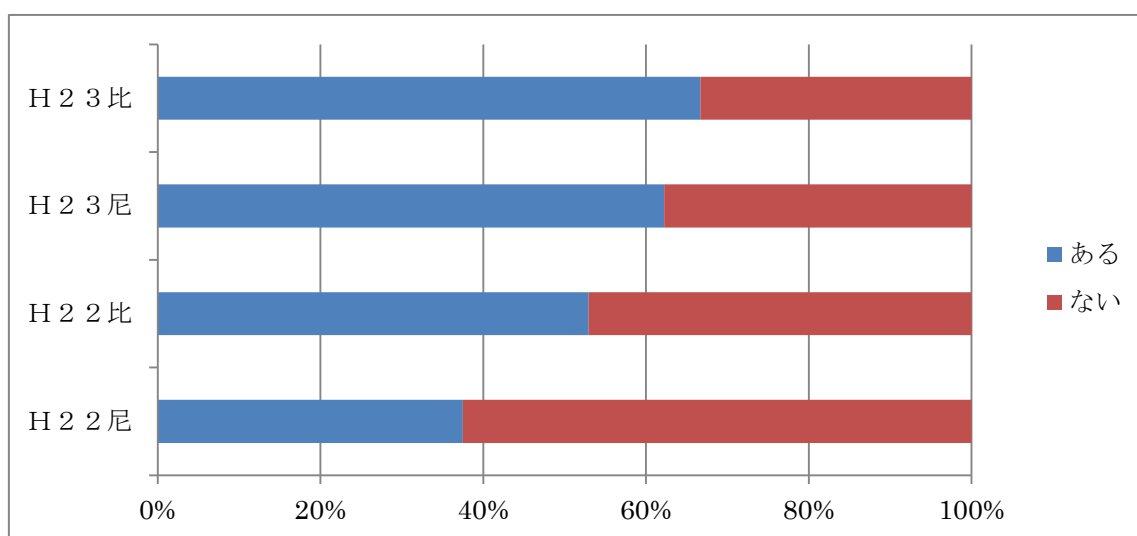
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
問題なく実施できている	5件	9件	7件	23件	44件
日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、何とか実施できる	23件	23件	29件	32件	107件
日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、業務に一部支障がある	4件	2件	9件	11件	26件
日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、ほとんどできない	0件	0件	0件	0件	0件

⑧日本語の文字を理解しないと出来ない業務の有無について

「仕事上で、日本語の文字を理解しないと出来ない業務」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)については、「ない」という回答が多かった(20件)。

これに対して、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「ある」という回答が多かった(順に、18件、28件、44件)。(図2-8)

(図2-8)日本語の文字を理解しないと出来ない業務

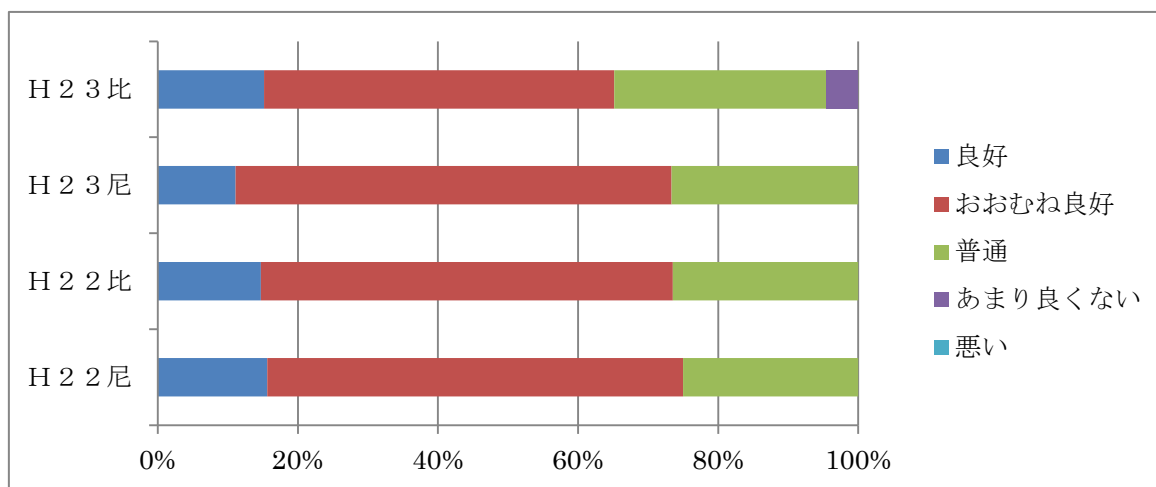


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
ある	12件	18件	28件	44件	102件
ない	20件	16件	17件	22件	75件

⑨患者や家族からの反応について

「候補者の所属部門における患者や家族からの反応」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)のいずれにおいても、「おおむね良好」という回答が多かった(順に、19件、20件、28件、33件)。(図2-9)

(図2-9) 患者や家族からの反応



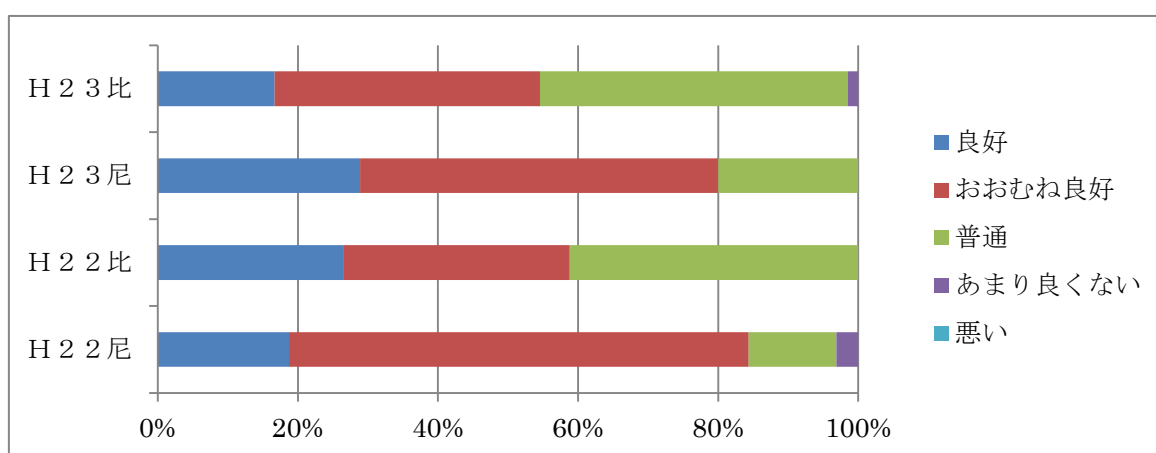
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
良好	5件	5件	5件	10件	25件
おおむね良好	19件	20件	28件	33件	100件
普通	8件	9件	12件	20件	49件
あまり良くない	0件	0件	0件	3件	3件
悪い	0件	0件	0件	0件	0件

⑩職員からの反応について

「候補者の所属部門における職員からの反応」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)については、「おおむね良好」という回答が多かった(順に、21件、23件)。

これに対して、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「普通」という回答が多かった(順に、14件、29件)。(図2-10)

(図2-10)職員からの反応

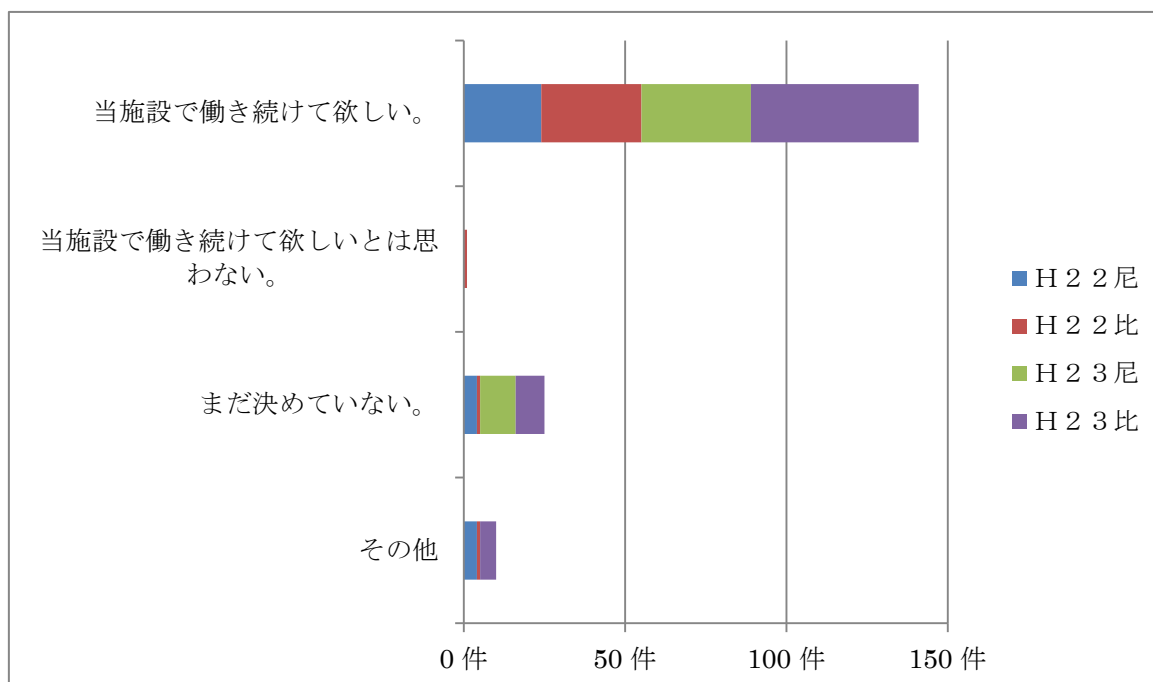


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
良好	6件	9件	13件	11件	39件
おおむね良好	21件	11件	23件	25件	80件
普通	4件	14件	9件	29件	56件
あまり良くない	1件	0件	0件	1件	2件
悪い	0件	0件	0件	0件	0件

⑪国家試験合格後の候補者の処遇について

「国家試験合格後の候補者の処遇」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)のいずれにおいても、「当施設で働き続けて欲しい。」という回答が多かった(順に、24件、31件、34件、52件)。(図2-11)

(図2-11) 国家試験合格後の候補者の処遇

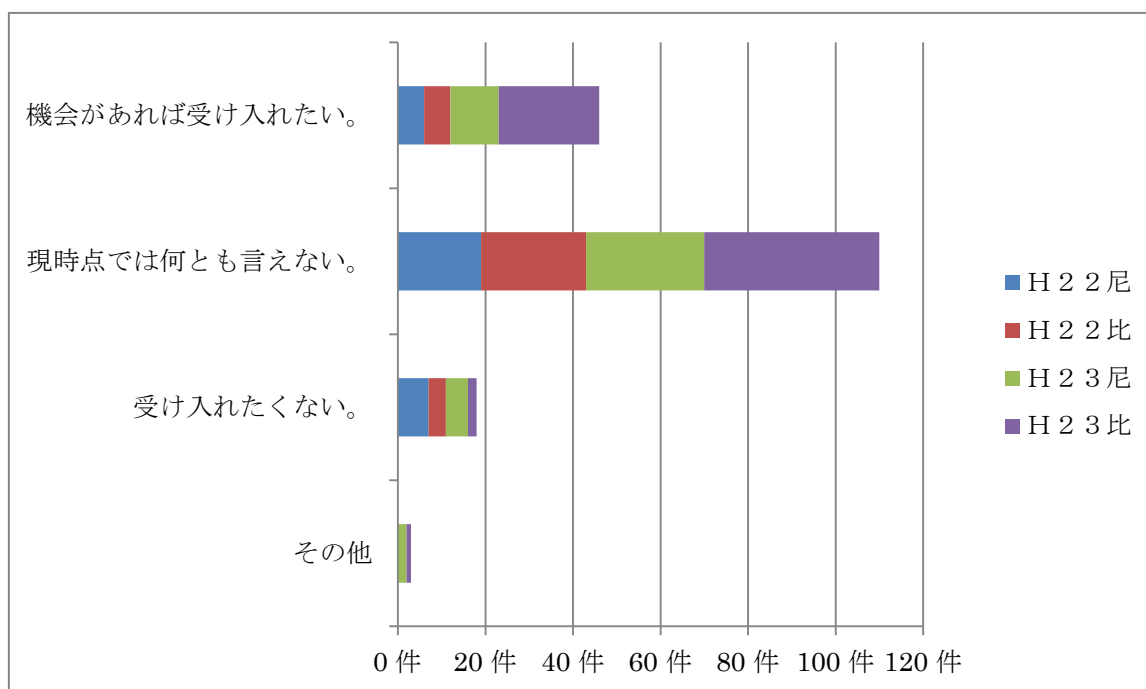


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
当施設で働き続けて欲しい。	24件	31件	34件	52件	141件
当施設で働き続けて欲しいとは思わない。	0件	1件	0件	0件	1件
まだ決めていない。	4件	1件	11件	9件	25件
その他	4件	1件	0件	5件	10件

⑫今後、新たな候補者の受入れ希望について

「今後、新たな候補者の受入れ希望」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)のいずれにおいても、「現時点では何とも言えない」という回答が多かった(順に、19件、24件、27件、40件)。(図2-12)

(図2-12) 今後、新たな候補者の受入れ希望について



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
機会があれば受け入れたい。	6件	6件	11件	23件	46件
現時点では何とも言えない。	19件	24件	27件	40件	110件
受け入れたくない。	7件	4件	5件	2件	18件
その他	0件	0件	2件	1件	3件

(2) 研修全般について

① 日本語と国家試験対策の学習時間について

「候補者の週当たりの日本語と国家試験対策の学習回数、学習時間」について質問したところ、下記のようになった。なお、同じ時間に日本語の学習と国家試験対策を実施しているものについては、各々の時間を均等に振り分けた時間で算出している。

< 日本語の学習 >

	H22尼	H22比	H23尼	H23比	全体平均
勤務時間内学習回数	週 2.7 回	週 2.0 回	週 2.0 回	週 3.0 回	週 2.5 回
勤務時間内学習時間	週 5.2 時間	週 5.0 時間	週 4.2 時間	週 5.7 時間	週 5.1 時間
勤務時間外学習回数	週 1.3 回	週 0.8 回	週 1.1 回	週 0.8 回	週 1.0 回
勤務時間外学習時間	週 3.9 時間	週 0.9 時間	週 2.5 時間	週 1.7 時間	週 3.1 時間

< 国家試験対策 >

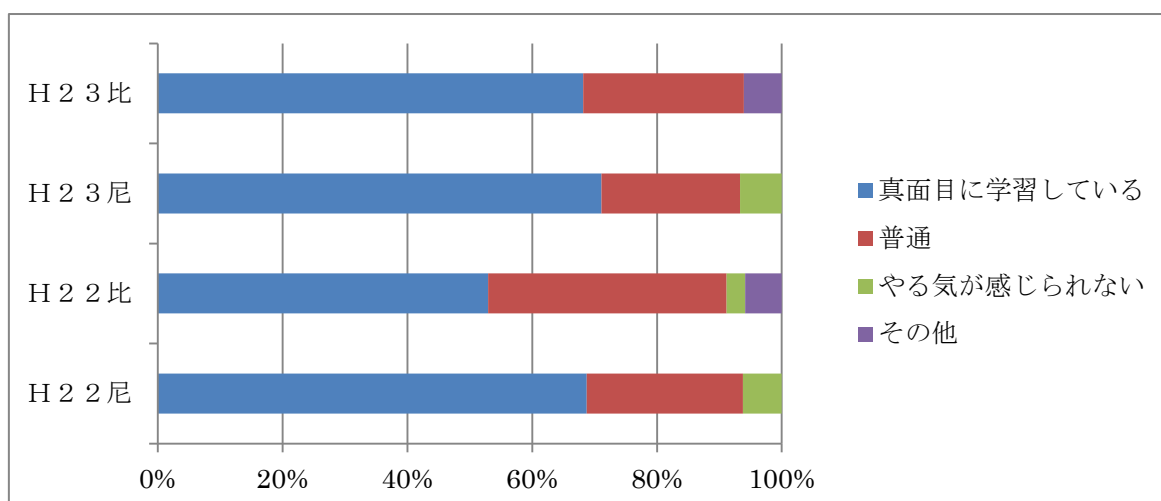
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	全体平均
勤務時間内学習回数	週 5.2 回	週 3.8 回	週 3.9 回	週 4.2 回	週 4.2 回
勤務時間内学習時間	週 13.5 時間	週 12.2 時間	週 11.4 時間	週 9.5 時間	週 11.2 時間
勤務時間外学習回数	週 1.5 回	週 0.8 回	週 1.1 回	週 0.8 回	週 1.0 回
勤務時間外学習時間	週 4.1 時間	週 1.3 時間	週 2.5 時間	週 1.7 時間	週 2.3 時間

②候補者の学習態度の変化

研修開始後と現在を比べた「候補者の学習態度の変化」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)については、配属直後と現在ともに、「真面目に学習している」という回答が多かった。

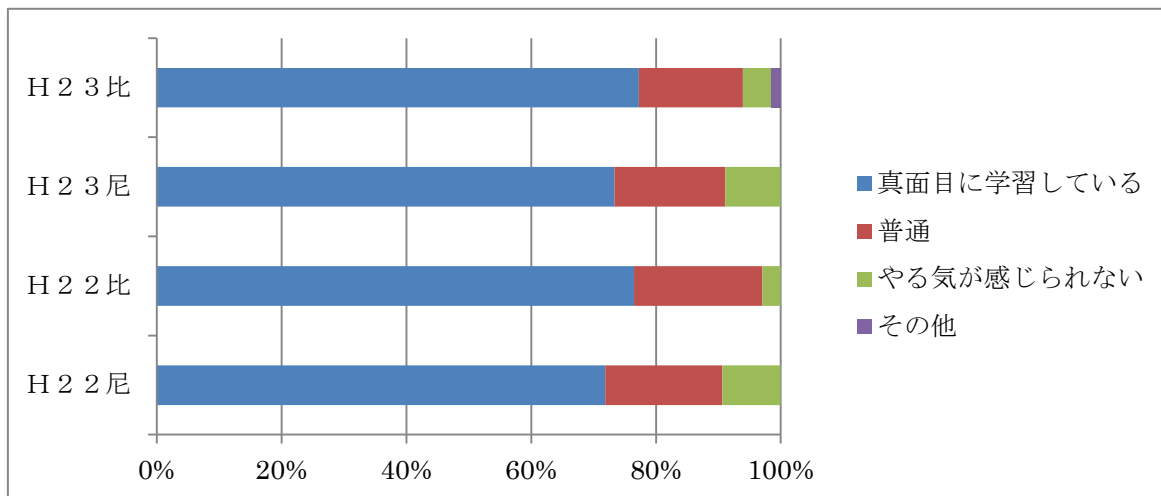
これに対して、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)については、「真面目に学習している」という回答が、「18件」(配属直後の学習態度)から「26件」(現在の学習態度)に増加している。また、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)についても、「真面目に学習している」という回答が、「45件」(配属直後の学習態度)から「51件」(現在の学習態度)に増加しており、インドネシア看護師候補者とフィリピン看護師候補者の学習態度において差が無くなった。(図2-14)(図2-15)

(図2-14)配属直後の学習態度



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
真面目に学習している	22件	18件	32件	45件	117件
普通	8件	13件	10件	17件	48件
やる気が感じられない	2件	1件	3件	0件	6件
その他	0件	2件	0件	4件	6件

(図2-15)現在の学習態度

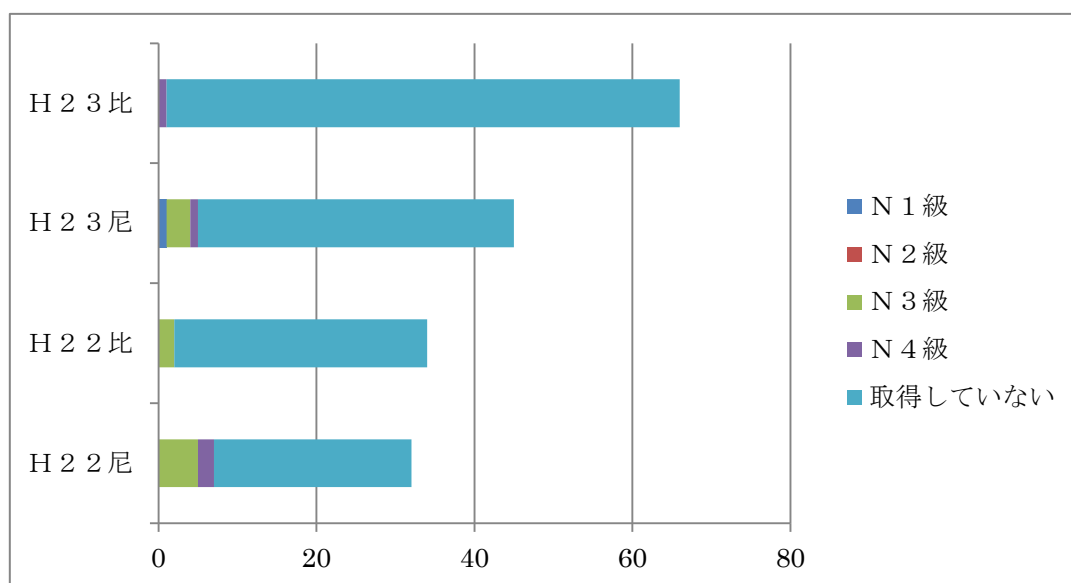


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
真面目に学習している	23件	26件	33件	51件	133件
普通	6件	7件	8件	11件	32件
やる気が感じられない	3件	1件	4件	3件	11件
その他	0件	0件	0件	1件	1件

③日本語能力資格の取得状況について

「日本語能力資格の取得状況」について質問したところ、候補者177名中15名が「取得している」と回答した。(図2-16)

(図2-16) 日本語能力資格の取得状況について

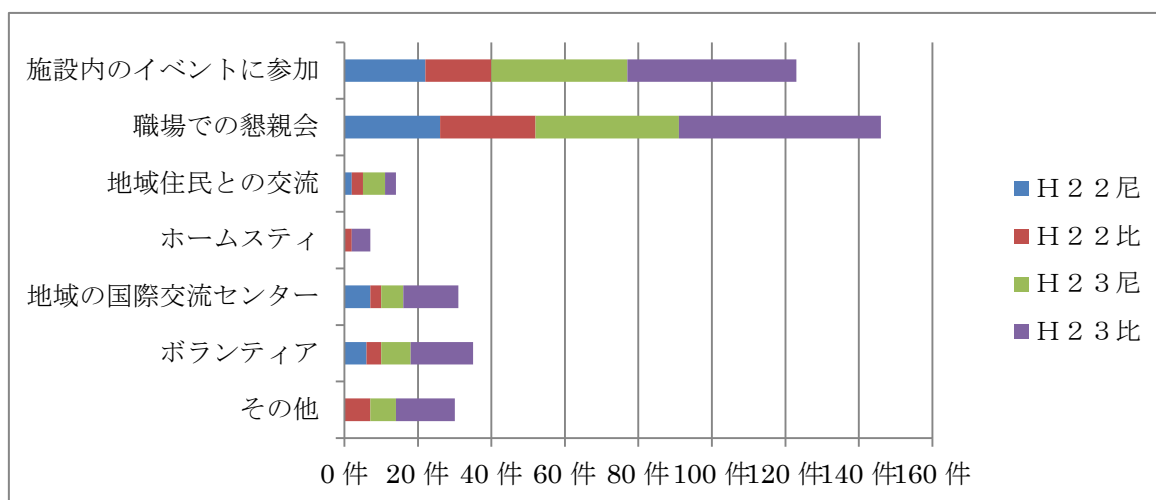


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
N1級	0件	0件	1件	0件	1件
N2級	0件	0件	0件	0件	0件
N3級	5件	2件	3件	0件	10件
N4級	2件	0件	1件	1件	4件
取得していない	25件	32件	40件	65件	162件

④日本語に触れる機会について

「日本語に触れる機会」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)ともに、「『職場での懇親会』を行っているという回答」が多かった(順に、26件、26件、39件、55件)。(図2-17)

(図2-17) 日本語に触れる機会【複数回答】



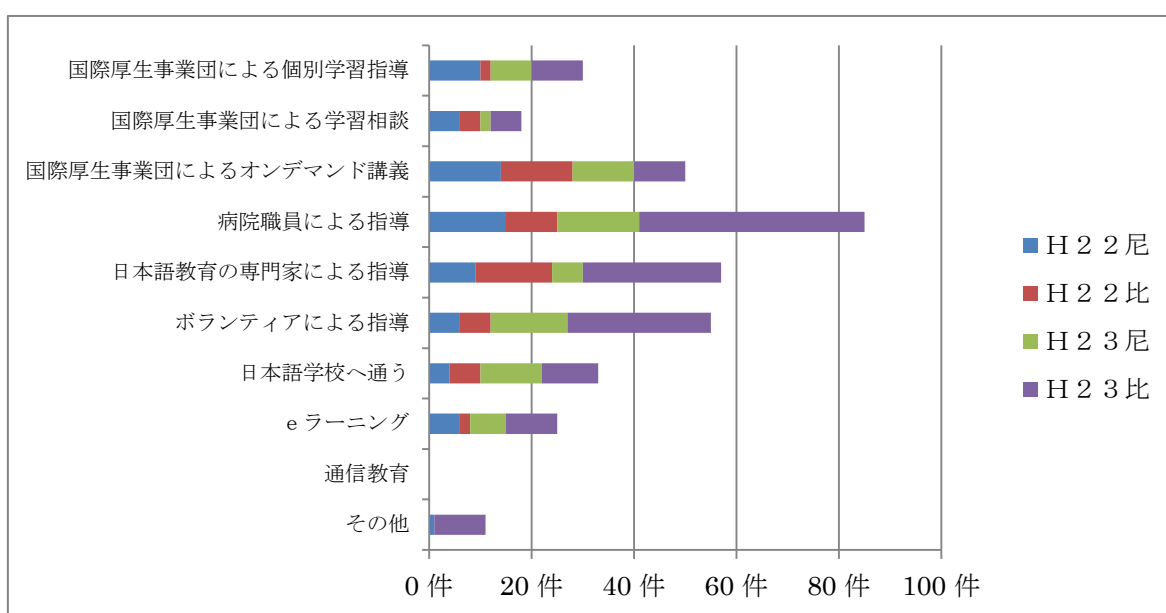
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
施設内のイベントに参加	22件	18件	37件	46件	123件
職場での懇親会	26件	26件	39件	55件	146件
地域住民との交流	2件	3件	6件	3件	14件
ホームステイ	0件	2件	0件	5件	7件
地域の国際交流センター	7件	3件	6件	15件	31件
ボランティア	6件	4件	8件	17件	35件
その他	0件	7件	7件	16件	30件

(3) 日本語学習について

① 日本語指導の方法について

「日本語指導の方法」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「病院職員による指導」という回答が多かった(順に、15件、16件、44件)。これに対して、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)については、「日本語教育の専門家による指導」という回答が多かった(15件)。(図2-18)

(図2-18) 日本語指導の方法【複数回答】

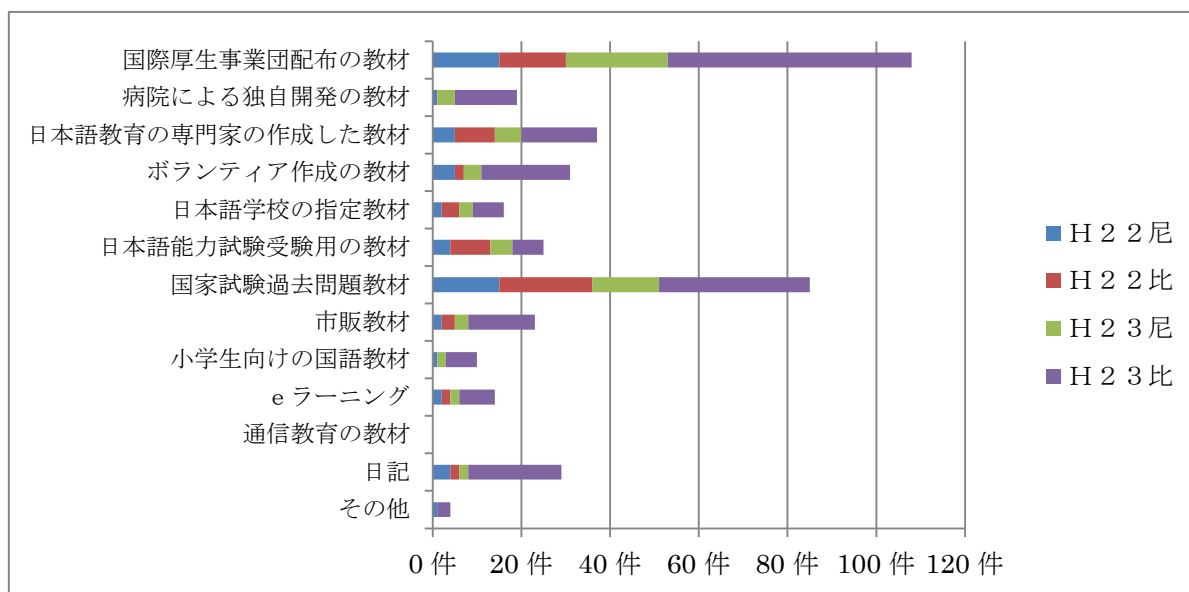


	H22ニ	H22比	H23ニ	H23比	合計
国際厚生事業団による個別学習指導	10件	2件	8件	10件	30件
国際厚生事業団による学習相談	6件	4件	2件	6件	18件
国際厚生事業団によるオンデマンド講義	14件	14件	12件	10件	50件
病院職員による指導	15件	10件	16件	44件	85件
日本語教育の専門家による指導	9件	15件	6件	27件	57件
ボランティアによる指導	6件	6件	15件	28件	55件
日本語学校へ通う	4件	6件	12件	11件	33件
eラーニング	6件	2件	7件	10件	25件
通信教育	0件	0件	0件	0件	0件
その他	1件	0件	0件	10件	11件

②日本語の使用教材について

「日本語の学習に使用している教材」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「国際厚生事業団配布の教材」という回答が多かった(順に、15件、15件、23件、55件)。(図2-19)

(図2-19)日本語の使用教材【複数回答】



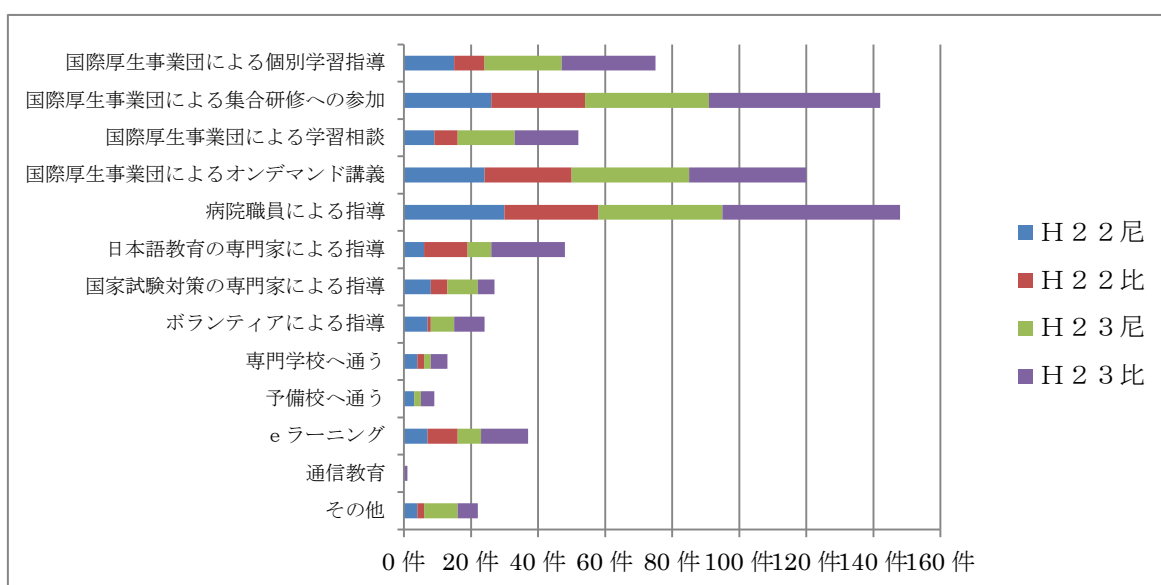
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
国際厚生事業団配布の教材	15件	15件	23件	55件	108件
病院による独自開発の教材	1件	0件	4件	14件	19件
日本語教育の専門家の作成した教材	5件	9件	6件	17件	37件
ボランティア作成の教材	5件	2件	4件	20件	31件
日本語学校の指定教材	2件	4件	3件	7件	16件
日本語能力試験受験用の教材	4件	9件	5件	7件	25件
国家試験過去問題教材	15件	21件	15件	34件	85件
市販教材	2件	3件	3件	15件	23件
小学生向けの国語教材	1件	0件	2件	7件	10件
eラーニング	2件	2件	2件	8件	14件
通信教育の教材	0件	0件	0件	0件	0件
日記	4件	2件	2件	21件	29件
その他	1件	0件	0件	3件	4件

(4) 国家試験対策について

① 国家試験対策の学習方法について

「国家試験対策の学習方法」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「病院職員による指導」という回答が多かった(順に、30件、28件、37件、53件)。(図2-20)

(図2-20) 国家試験対策の学習方法【複数回答】

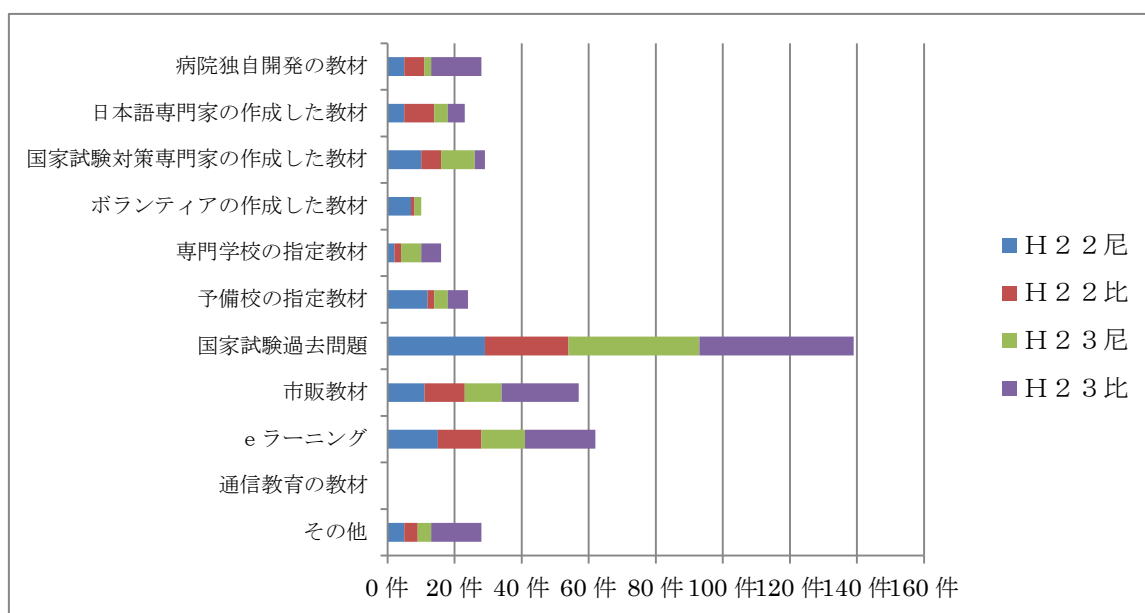


	H22ニ	H22比	H23ニ	H23比	合計
国際厚生事業団による個別学習指導	15件	9件	23件	28件	75件
国際厚生事業団による集合研修への参加	26件	28件	37件	51件	142件
国際厚生事業団による学習相談	9件	7件	17件	19件	52件
国際厚生事業団によるオンデマンド講義	24件	26件	35件	35件	120件
病院職員による指導	30件	28件	37件	53件	148件
日本語教育の専門家による指導	6件	13件	7件	22件	48件
国家試験対策の専門家による指導	8件	5件	9件	5件	27件
ボランティアによる指導	7件	1件	7件	9件	24件
専門学校へ通う	4件	2件	2件	5件	13件
予備校へ通う	3件	0件	2件	4件	9件
eラーニング	7件	9件	7件	14件	37件
通信教育	0件	0件	0件	1件	1件
その他	4件	2件	10件	6件	22件

②国家試験対策の使用教材について

「国家試験対策に使用している教材」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「国家試験過去問題教材」という回答が多かった(順に、29件、25件、39件、46件)。(図2-21)

(図2-21) 国家試験対策の使用教材【複数回答】



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
病院独自開発の教材	5件	6件	2件	15件	28件
日本語専門家の作成した教材	5件	9件	4件	5件	23件
国家試験対策専門家の作成した教材	10件	6件	10件	3件	29件
ボランティアの作成した教材	7件	1件	2件	0件	10件
専門学校の指定教材	2件	2件	6件	6件	16件
予備校の指定教材	12件	2件	4件	6件	24件
国家試験過去問題	29件	25件	39件	46件	139件
市販教材	11件	12件	11件	23件	57件
eラーニング	15件	13件	13件	21件	62件
通信教育の教材	0件	0件	0件	0件	0件
その他	5件	4件	4件	15件	28件

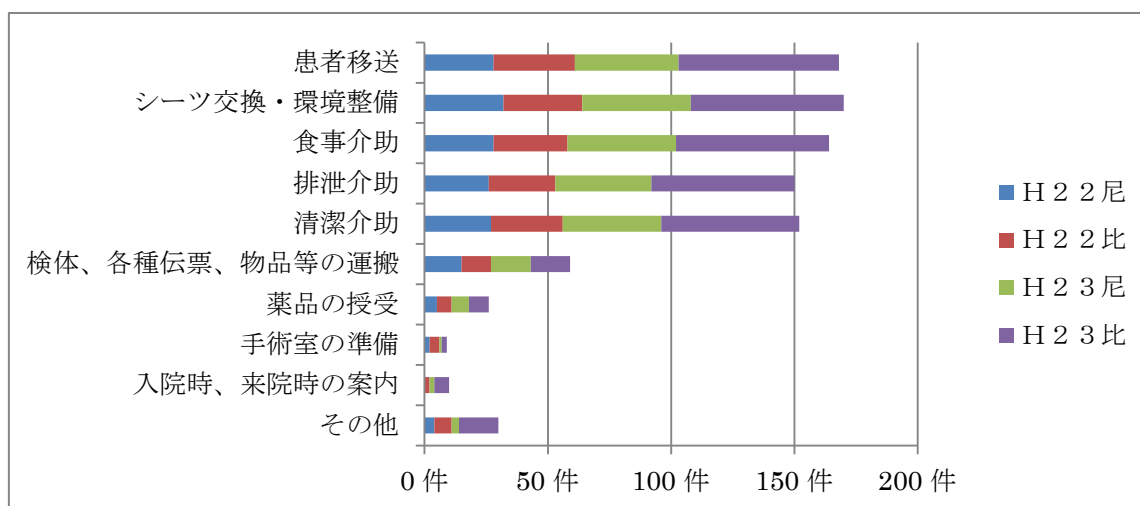
3. 候補者への質問

(1) 就労について

① 現在取り組んでいる業務について

「現在取り組んでいる業務」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)については、「シーツ交換・環境整備」という回答が多かった(順に、32件、44件)。他方、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「患者移送」という回答が多かった(順に、33件、65件)。(図3-1)

(図3-1) 現在取り組んでいる業務【複数回答】

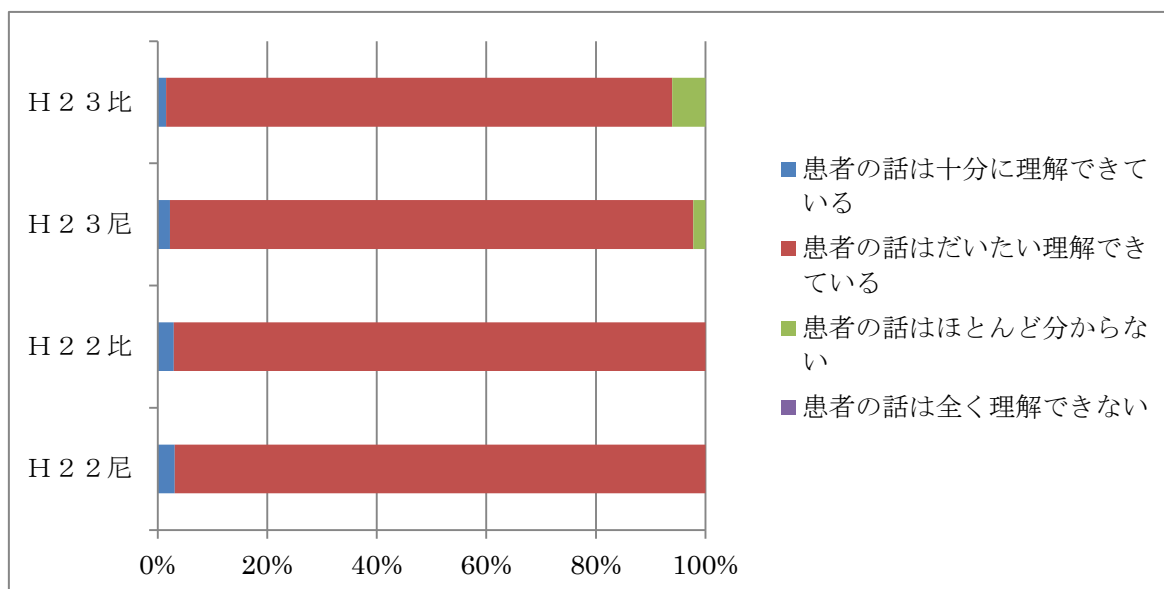


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
患者移送	28件	33件	42件	65件	168件
シーツ交換・環境整備	32件	32件	44件	62件	170件
食事介助	28件	30件	44件	62件	164件
排泄介助	26件	27件	39件	58件	150件
清潔介助	27件	29件	40件	56件	152件
検体、各種伝票、物品等の運搬	15件	12件	16件	16件	59件
薬品の授受	5件	6件	7件	8件	26件
手術室の準備	2件	4件	1件	2件	9件
入院時、来院時の案内	0件	2件	2件	6件	10件
その他	4件	7件	3件	16件	30件

②患者との日本語によるコミュニケーションについて

「患者との日本語によるコミュニケーション」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「患者の話はだいたい理解できている」という回答が多かった(順に、31件、33件、43件、61件)。(図3-2)

(図3-2)患者との日本語によるコミュニケーション

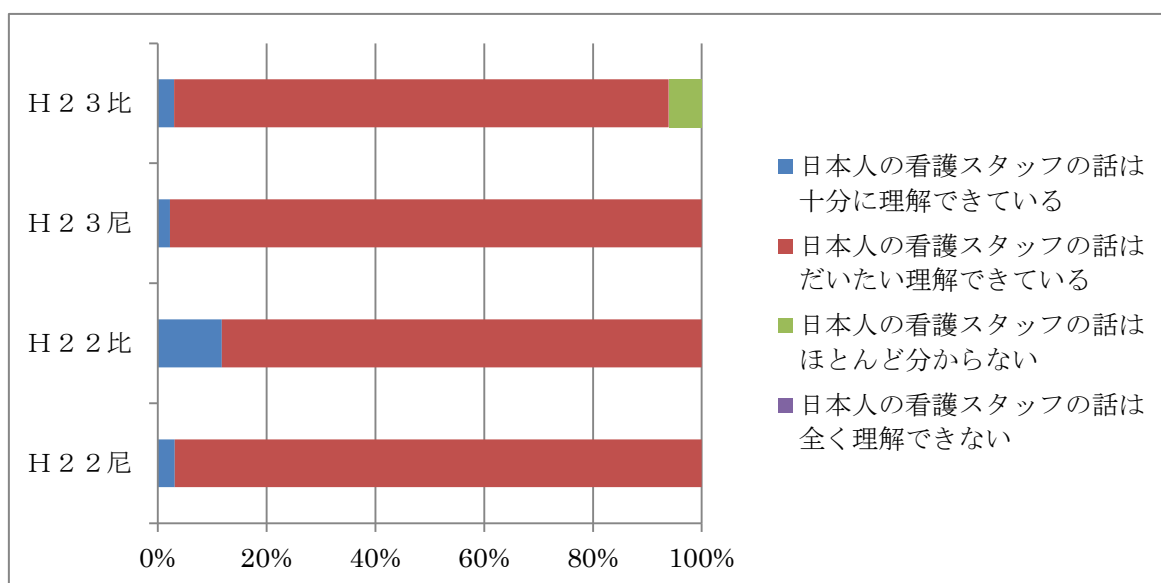


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
患者の話は十分に理解できている	1件	1件	1件	1件	4件
患者の話はだいたい理解できている	31件	33件	43件	61件	168件
患者の話はほとんど分からない	0件	0件	1件	4件	5件
患者の話は全く理解できない	0件	0件	0件	0件	0件

③日本人の看護スタッフとの日本語によるコミュニケーションについて

「看護スタッフとの日本語によるコミュニケーション」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「日本人の看護スタッフの話はだいたい理解できている」という回答が多かった(順に、31件、30件、44件、60件)。(図3-3)

(図3-3) 日本人の看護スタッフとの日本語によるコミュニケーション

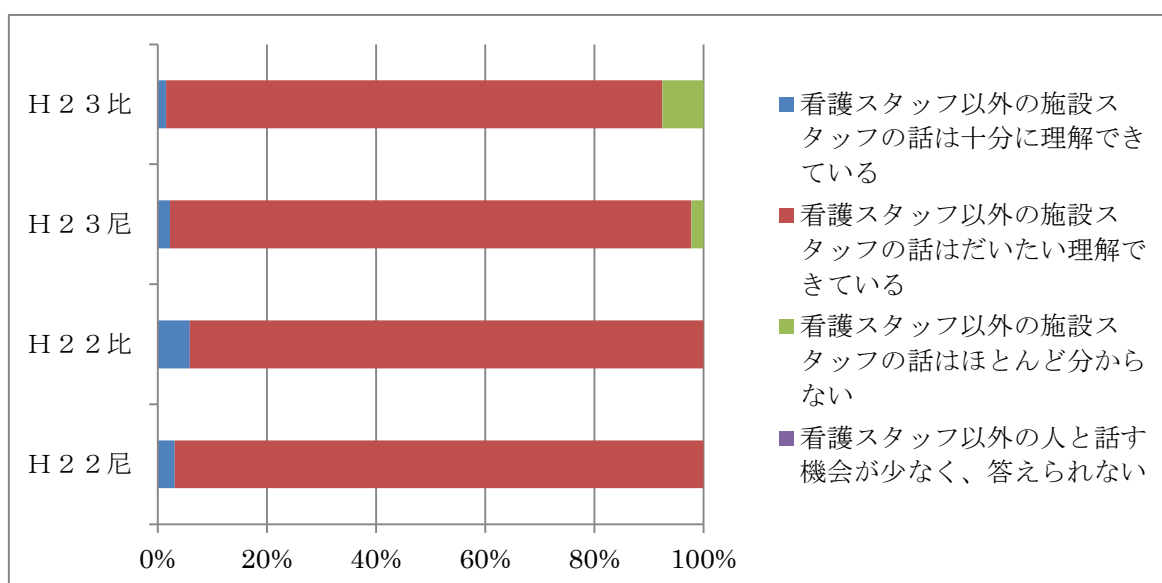


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
日本人の看護スタッフの話は十分に理解できている	1件	4件	1件	2件	8件
日本人の看護スタッフの話はだいたい理解できている	31件	30件	44件	60件	165件
日本人の看護スタッフの話はほとんど分からない	0件	0件	0件	4件	4件
日本人の看護スタッフの話は全く理解できない	0件	0件	0件	0件	0件

④看護スタッフ以外の施設スタッフとの日本語によるコミュニケーションについて

「看護スタッフ以外の施設スタッフとの日本語によるコミュニケーション」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「看護スタッフ以外の施設スタッフの話はだいたい理解できている」という回答が多かった(順に、31件、32件、43件、60件)。(図3-4)

(図3-4) 看護スタッフ以外の施設スタッフとの日本語によるコミュニケーション

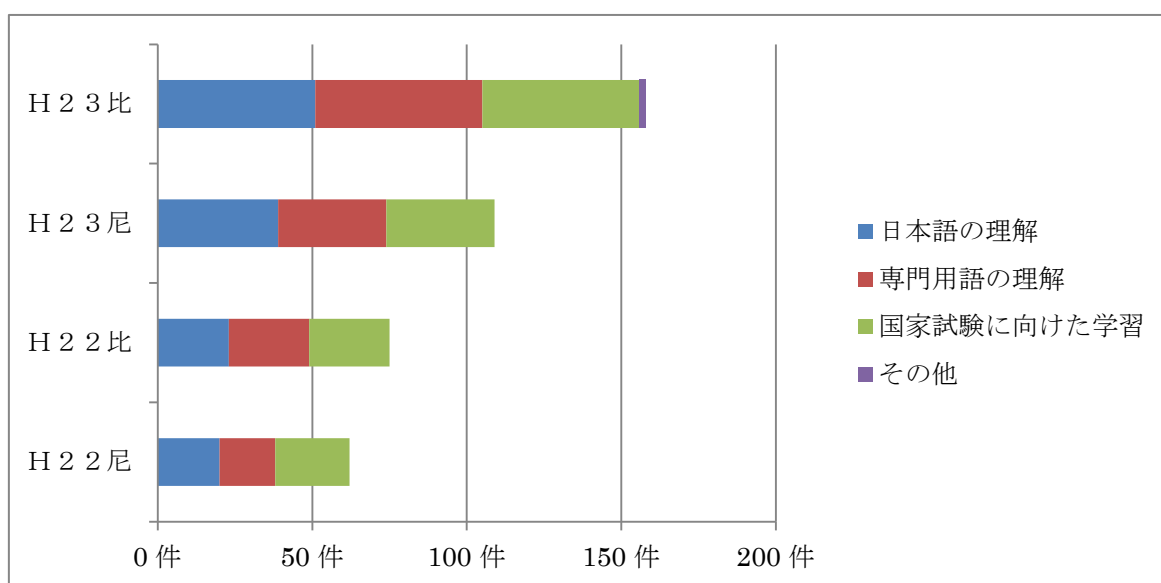


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
看護スタッフ以外の施設スタッフの話は十分に理解できている	1件	2件	1件	1件	5件
看護スタッフ以外の施設スタッフの話はだいたい理解できている	31件	32件	43件	60件	166件
看護スタッフ以外の施設スタッフの話はほとんど分からない	0件	0件	1件	5件	6件
看護スタッフ以外の人と話す機会が少なく、答えられない	0件	0件	0件	0件	0件

⑤現在、候補者が課題と感じていることについて

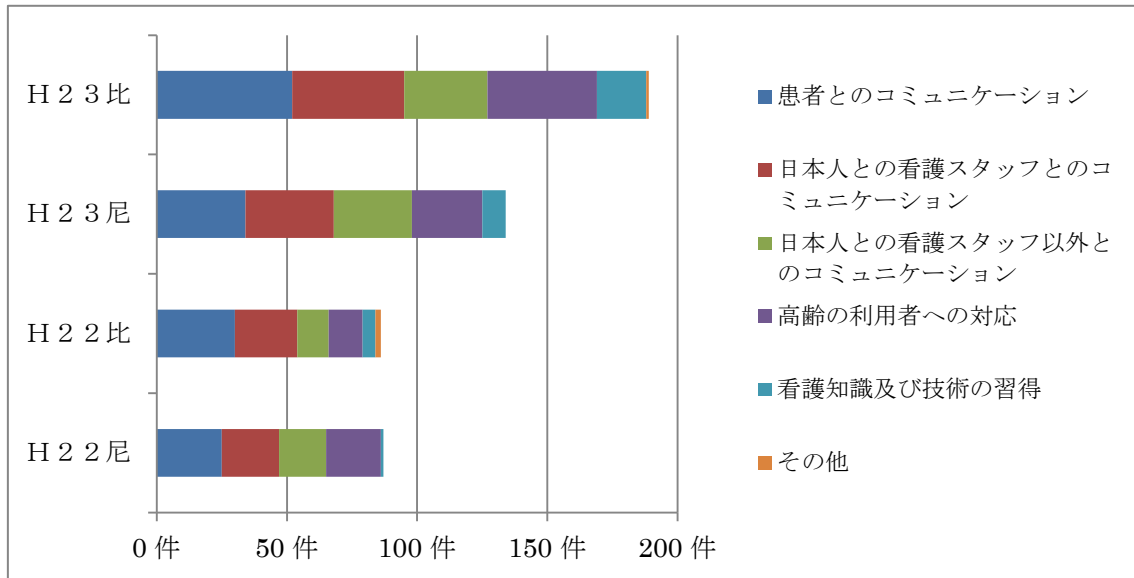
「現在、候補者が課題と感じていること」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「国家試験に向けた学習」(順に、24件、26件、35件、51件)、「患者とのコミュニケーション」(順に、25件、30件、34件、52件)という回答が多かった。(図3-5)(図3-6)

(図3-5) 学習についての課題【複数回答】



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
日本語の理解	20件	23件	39件	51件	133件
専門用語の理解	18件	26件	35件	54件	133件
国家試験に向けた学習	24件	26件	35件	51件	136件
その他	0件	0件	0件	2件	2件

(図3-6)仕事についての課題【複数回答】



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
患者とのコミュニケーション	25件	30件	34件	52件	141件
日本人との看護スタッフとのコミュニケーション	22件	24件	34件	43件	123件
日本人との看護スタッフ以外とのコミュニケーション	18件	12件	30件	32件	92件
高齢の利用者への対応	21件	13件	27件	42件	103件
看護知識及び技術の習得	1件	5件	9件	19件	34件
その他	0件	2件	0件	1件	3件

⑥候補者の日本語や国家試験の勉強時間について

候補者の「病院や施設での勉強時間」について質問したところ、「全体平均で週14.5時間」であった。また、候補者の「自宅や寮での勉強時間」について質問したところ、「全体平均で週13.5時間」であった。(図3-7)

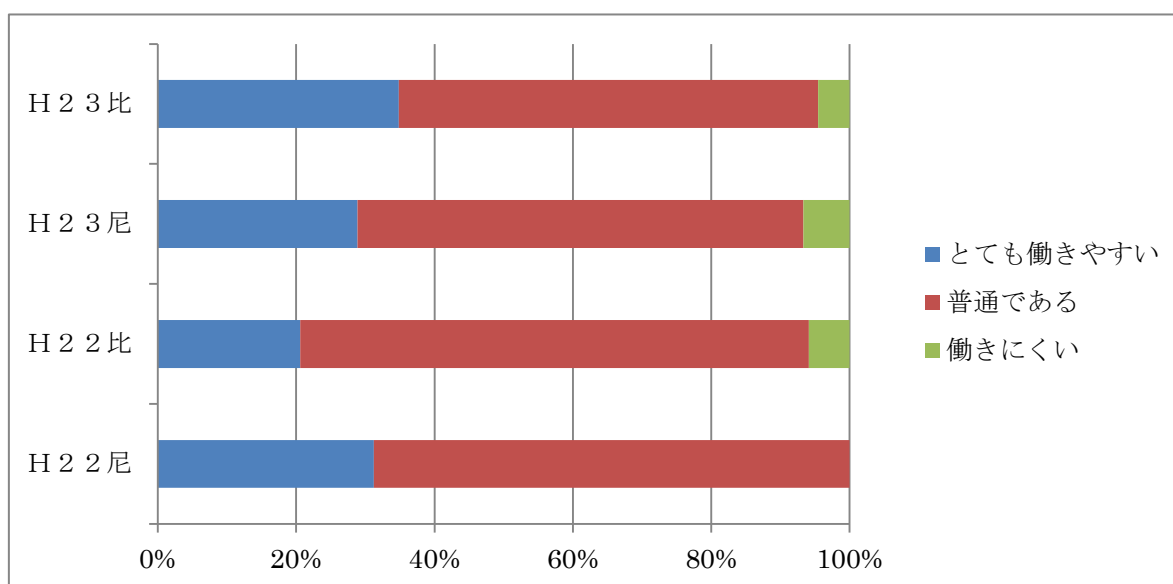
(図3-7) 日本語や国家試験の学習時間

	H22尼	H22比	H23尼	H23比	全体
病院や施設での学習時間	週 14.4時間	週 17.1時間	週 14.3時間	週 13.4時間	週 14.5時間
自宅や寮での学習時間	週 13.9時間	週 11.7時間	週 14.6時間	週 13.3時間	週 13.4時間

⑦現在の職場環境について

「現在の職場環境」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「普通である」という回答が多かった(順に、22件、25件、29件、40件)。(図3-8)

(図3-8) 現在の職場環境

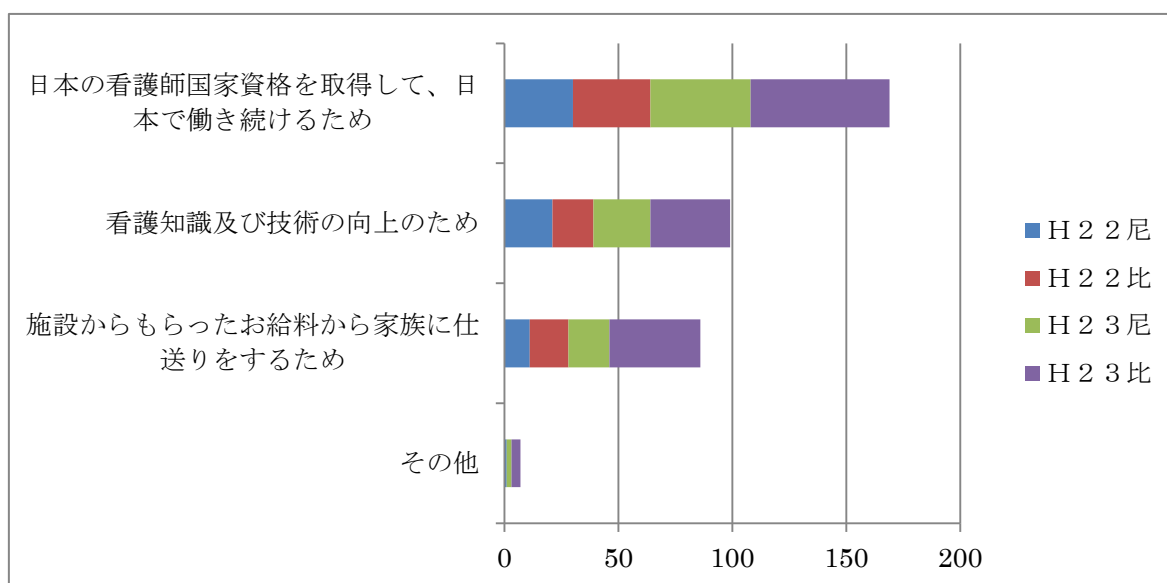


	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
とても働きやすい	10件	7件	13件	23件	53件
普通である	22件	25件	29件	40件	116件
働きにくい	0件	2件	3件	3件	8件

⑧来日の目的について

「来日の目的」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「日本の看護師国家資格を取得して、日本で働き続けるため」という回答が多かった(順に、30件、34件、44件、61件)。(図3-9)

(図3-9)来日の目的【複数回答】



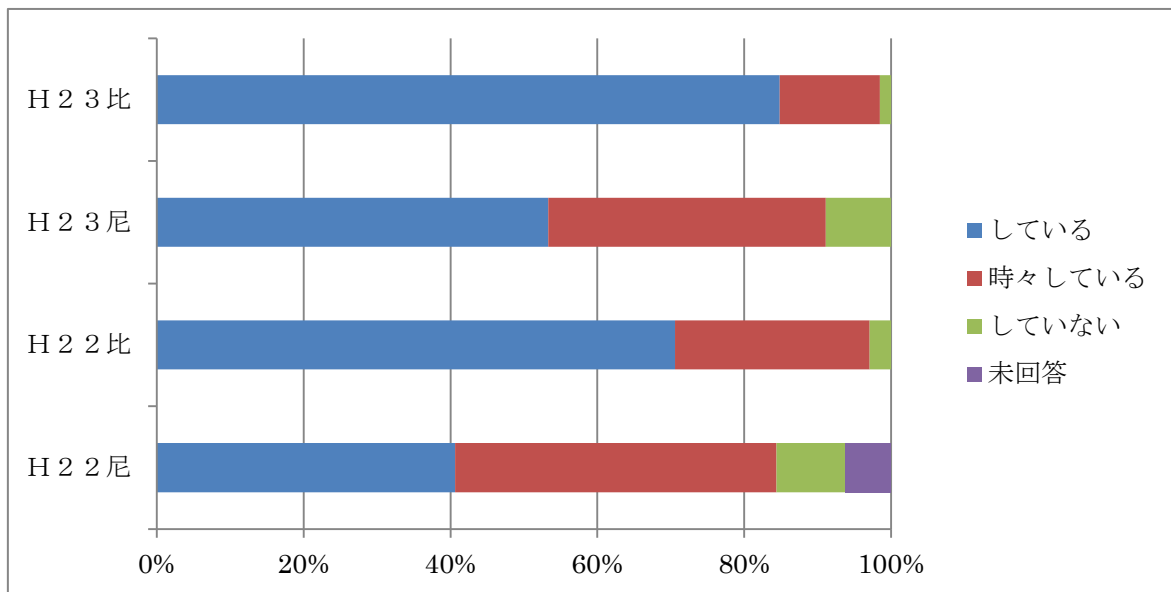
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
日本の看護師国家資格を取得して、日本で働き続けるため	30件	34件	44件	61件	169件
看護知識及び技術の向上のため	21件	18件	25件	35件	99件
施設からもらったお給料から家族に仕送りをするため	11件	17件	18件	40件	86件
その他	1件	0件	2件	4件	7件

(2) 候補者の生活について

① 仕送りの状況について

「仕送りの状況」について質問したところ、平成22年度フィリピン人看護師候補者（計34名）、平成23年度インドネシア人看護師候補者（計45名）、平成23年度フィリピン人看護師候補者（計66名）については、「している」という回答が多かった（順に、24件、24件、56件）。これに対して、平成22年度インドネシア人看護師候補者（計32名）については、「時々している」（14件）という回答が多かった。（図3-10）

（図3-10）仕送りの状況



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
している	13件	24件	24件	56件	117件
時々している	14件	9件	17件	9件	49件
していない	3件	1件	4件	1件	9件
未回答	2件	0件	0件	0件	2件

※ 仕送り金額の平均について

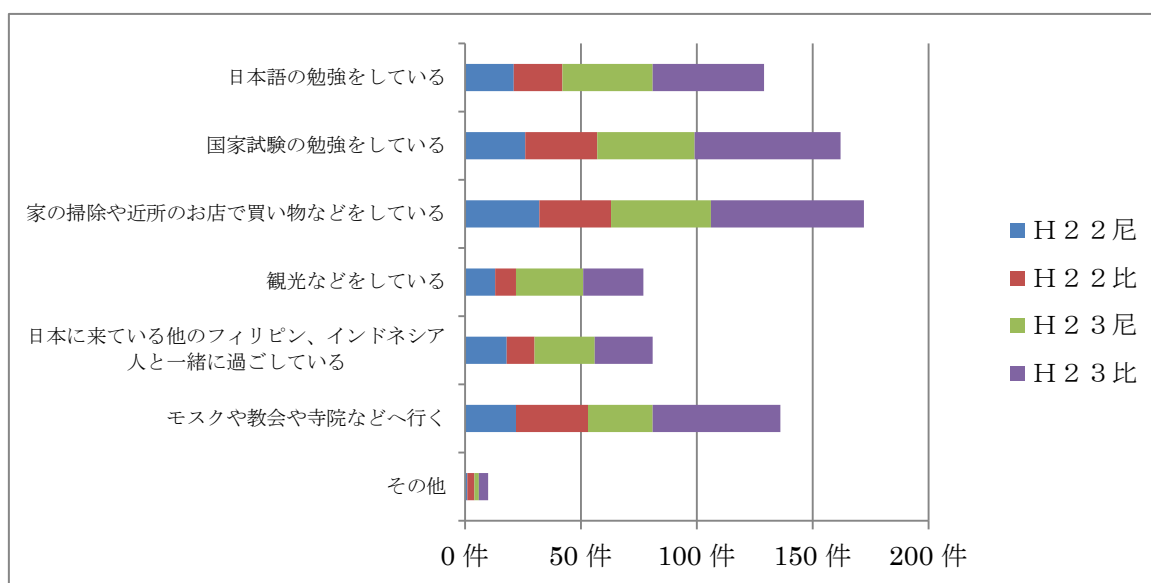
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	全体平均額
している	4.9万円	6.0万円	5.6万円	5.5万円	5.6万円
時々している	8.2万円	5.8万円	7.5万円	6.9万円	7.3万円

※回答は、自由書式による数値を平均したものである。

②休日の過ごし方について

「休日の過ごし方」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「家の掃除や近所のお店で買い物などをしている」という回答が多かった(順に、32件、31件、43件、66件)。(図3-11)

(図3-11)休日の過ごし方【複数回答】



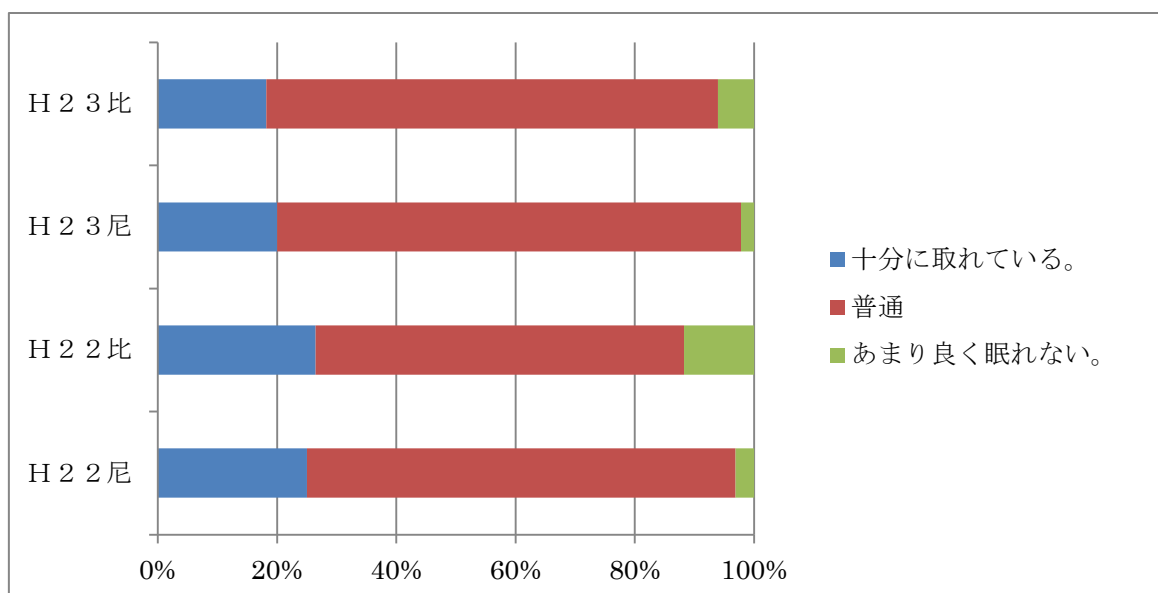
	H22ニ	H22比	H23ニ	H23比	合計
日本語の勉強をしている	21件	21件	39件	48件	129件
国家試験の勉強をしている	26件	31件	42件	63件	162件
家の掃除や近所のお店で買い物などをしている	32件	31件	43件	66件	172件
観光などをしている	13件	9件	29件	26件	77件
日本に来ている他のフィリピン、インドネシア人と一緒に過ごしている	18件	12件	26件	25件	81件
モスクや教会や寺院などへ行く	22件	31件	28件	55件	136件
その他	1件	3件	2件	4件	10件

③睡眠と健康の状況について

「睡眠の状況」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「普通」という回答が多かった(順に、23件、21件、35件、50件)(図3-12)。

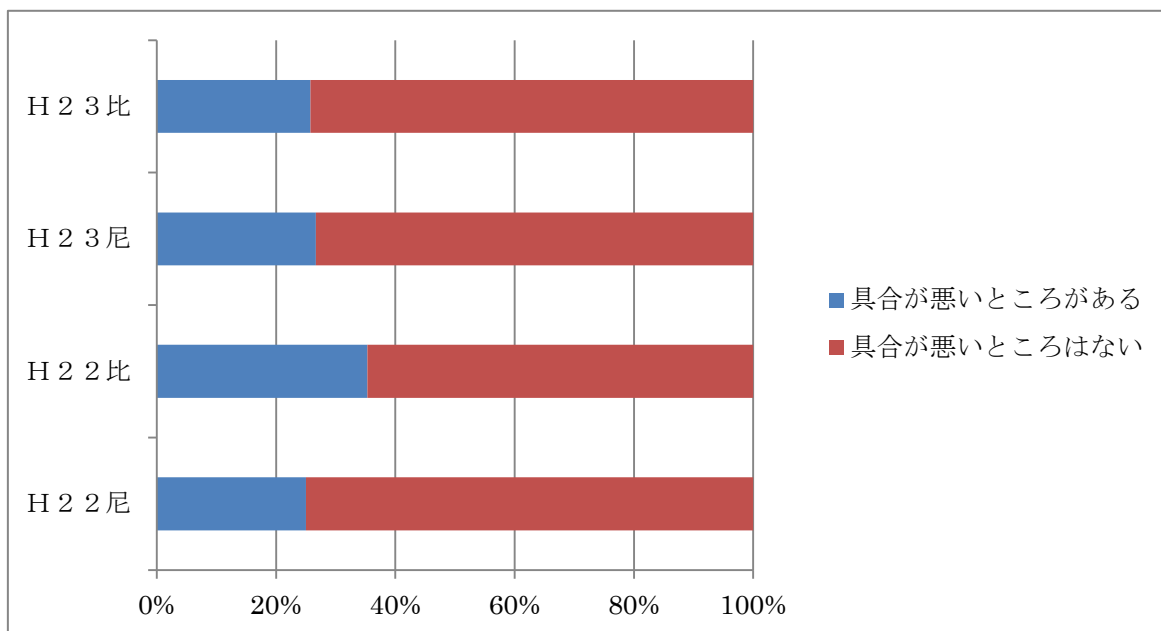
また、「健康の状況」について質問したところ、平成22年度インドネシア人看護師候補者(計32名)、平成22年度フィリピン人看護師候補者(計34名)、平成23年度インドネシア人看護師候補者(計45名)、平成23年度フィリピン人看護師候補者(計66名)については、「悪いところはない」という回答が多かった(順に、24件、22件、33件、49件)(図3-13)。

(図3-12)睡眠の状況



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
十分に取れている。	8件	9件	9件	12件	38件
普通	23件	21件	35件	50件	129件
あまり良く眠れない。	1件	4件	1件	4件	10件

(図3-13)健康の状況



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
具合が悪いところはない	24件	22件	33件	49件	128件
具合が悪いところがある	8件	12件	12件	17件	49件

4. 日本語テストの結果

候補者の看護師国家試験に向けた学習の進捗状況を測るために、日本語教育専門家が作成した日本語テストを実施し、その場で採点した上で、採点結果及び講評、今後の学習方法の助言を候補者及び受入れ施設(受入れ責任者、研修責任者等)に対して行った。なお、本テストは、点数評価を目的とするものではなく、漢字の認識、語彙の意味の認識、長文の読解、看護知識の不足等、候補者の学習における弱点を具体的に把握し、適切な助言を行うために実施するものである。

(1) 実施概要について

実施方法 問題1～2と問題3～4は分けて行う

所要時間 問題1～2 30分間 問題3～4 30分間

受験人数 173名(全177名)について実施

平成22年度インドネシア人看護師候補者:31名

(就労研修開始日:平成22年12月4日)

平成22年度フィリピン人看護師候補者:31名

(就労研修開始日:平成22年10月29日)

平成23年度インドネシア人看護師候補者:45名

(就労研修開始日:平成24年1月6日)

平成23年度フィリピン人看護師候補者:66名

(就労研修開始日:平成23年11月17日)

(2) 問題作成について

日本語教育専門家 グループ四次元ポケット 日本語教育専門家 作成

(3) 日本語テスト内容について

①必修問題

②一般問題

③状況設定問題

④状況設定問題

※ 出典は、第100回看護師国家試験より抜粋

<問題例について>

1. 正しい答えに○をつけてください。(5×5=25)

1) 日本における平成20年の合計特殊出生率はどれか。

- (1) 0.37
- (2) 1.37
- (3) 2.37
- (4) 3.37

2) 保健師助産師看護師法で規定されている看護師の義務はどれか。

- (1) 応招義務
- (2) 守秘義務
- (3) 処方箋交付の義務
- (4) セカンドオピニオン提供の義務

3) 貧血の診断に用いられるのはどれか。

- (1) ヘモグロビン濃度
- (2) 収縮期血圧
- (3) 血糖値
- (4) 尿酸値

4) 生後6か月児で発達の遅れを疑うのはどれか。

- (1) 親指と人さし指を使って、物をつまむことができない。
- (2) 意味のある言葉話すことができない。
- (3) つかまり立ちができない。
- (4) 首がすわらない。

5) 心的外傷後ストレス障害(PTSD)で正しいのはどれか。
post-traumatic stress disorder

- (1) 数日間で症状は消失する。
- (2) 特定の性格を持った人に起こる。
- (3) 日常のささいな出来事が原因となる。
- (4) 原因になった出来事の記憶が繰り返しよみがえる。

2. 正しい答えに○をつけてください。(5×5=25)

1) 気管切開による24時間の在宅人工呼吸療法を行う患者と家族への退院指導で

適切なのはどれか。2つ選べ。

- (1) 入浴はできない。
- (2) 外出や旅行は控える。
- (3) 外部バッテリーを準備する。
- (4) 呼吸器回路の予備を準備する。
- (5) 加温加湿器には水道水を入れる。

2) 髄液検査のための腰椎穿刺を受ける患者への対応で適切なのはどれか。

- (1) 穿刺時の患者の体位は背すじを伸ばした側臥位にする。
- (2) 穿刺時は患者に上肢のしびれがないかを尋ねる。
- (3) 検査後は患者の頭痛や吐き気に注意する。
- (4) 検査後30分が過ぎたら自由に動いてよいと話す。

3) 不安が強いうつ病患者への対応で最も適切なのはどれか。
depression

(1) 不安の原因を言語化するよう促す。

(2) 不安が強い時は意識的に話題を変える。

(3) 抗不安薬はなるべく使用しない方がよいと伝える。

(4) 病気の治療とともに不安は軽減する可能性があることを伝える。

4) Aさん(86歳、男性)は自宅で療養しており、84歳の妻が介護している。

Aさんは寝たきりで、尿失禁のためオムツをしている。Aさんの排尿量が多く、何度も布団を汚して困ると妻から相談があった。Aさんの妻の介護負担を考慮した訪問看護師の対応で適切なのはどれか。

(1) 水分の摂取量を減らすように話す。

(2) 膀胱留置カテーテルの使用を提案する。

(3) ポータブルトイレに定期的に座るよう勧める。

(4) オムツに尿取りパッドを追加するように指導する。

5) Aさん(48歳、女性)は子宮頸癌の手術を受けた。その後、リンパ節再発と腰椎へ
cancer of the uterine cervix

の転移が発見され、放射線治療を受けた。現在は外来で抗癌化学療法を受けている。

癌性疼痛に対しては、硫酸モルヒネ徐放錠を内服している。

Aさんへの外来看護師の対応で適切なのはどれか。

(1) 「吐き気がしても我慢してください」

(2) 「毎日、1時間のウォーキングをしましょう」

(3) 「家族に症状を訴えても心配をかけるだけです」

(4) 「便秘で痛みが強くなるようなら、緩下剤で調節してください」

3. 次の文を読み、1)～3)の問いに答えてください。(5×3=15)

Aさん(32歳、経産婦)は、身長160cmで、非妊時体重は52kgであった。妊娠33週2日の妊婦健康診査では、体重59kg、血圧110/76mmHg、尿蛋白(-)、尿糖(-)、浮腫+、子宮底長は28cmである。胎児心拍の最良聴取部位は左臍棘線中央にあり、「最近、動くとおなかが頻繁に張ります。便秘がひどくなっているせいかもしれません」と言う。

1) Aさんへの保健指導で適切なのはどれか。

- (1) 骨盤位体操を勧める。
- (2) 市販の下剤を服用することを勧める。
- (3) 水分の摂取量を減らすことを勧める。
- (4) 外出を控え自宅で過ごすことを勧める。

2) 妊娠36週0日の午前10時、Aさんは、子宮収縮が強くなったため入院した。Aさんは、午後3時に体温37.3℃、脈拍86/分、血圧128/80mmHgであった。

Aさんに分娩監視装置を装着した結果、陣痛周期4分、胎児心拍基線は150bpm、基線細変動があり、一過性除脈はなかった。子宮口6cm開大で「陣痛のときに、いきみたい感じがでてきました」と言う。この時点のアセスメントで適切なのはどれか。

- (1) 分娩第2期である。
- (2) 胎児心拍は正常である。
- (3) 母体に感染の徴候がみられる。
- (4) 努責を行うための指導が必要である。

3) 2時間後に A さんは、2,650gの児を娩出した。児のアプガースコアは 1分後、5分後ともに 9点であり、羊水混濁はなかった。出生3時間後の児の状態は、体温36.8℃、心拍数145/分、呼吸数65/分で、四肢に軽度のチアノーゼが見られる。児の状態を考えられるのはどれか。

- (1) 無呼吸発作
apnea attack
- (2) 呼吸窮迫症候群<RDS>
respiratory distress syndrome
- (3) 胎便吸引症候群<MAS>
meconium aspiration syndrome
- (4) 新生児一過性多呼吸<TTN>
transient tachypnea of the newborn

4. 次の文を読み、1)～3)の問いに答えてください。(5×3=15)

Aさん(70歳、男性)は、65歳の妻と2人で暮らしている。Aさんは67歳のときに安静

時に振戦が現れ、パーキンソン病と診断された。ヤールの重症度分類ステージⅢで
Parkinson's disease Yahr,M.D.

要介護3である。Aさんの症状として、仮面様顔貌、小刻み歩行および前傾姿勢があ

る。歩行練習を行っており、排泄は時間がかかるが自分でできている。Aさんの長男

夫婦は車で1時間のところに住んでおり、週末に様子を見にきている。Aさんは訪問

看護を2週間に1回利用している。

1) 転倒を予防するために、Aさんと妻に対して行う訪問看護師の指導で適切なのは
どれか。2つ選べ。

(1) なるべく家の中で過ごす。

(2) 方向転換はすばやく行う。

(3) 夜間はポータブルトイレを利用する。

(4) 動きが遅いときには歩行練習を増やす。

(5) 歩行を開始する時は、妻がかけ声をかける。

2) Aさんは、ドパミン受容体刺激薬とレボドパ<L-dopa>を内服している。妻から「まった

く動けない時もあるれば、目を離している間に動いて、転んでいることもある」と訴えがあ

った。Aさんへの対応に関する妻への訪問看護師の指導で適切なのはどれか。

(1)「内服と症状との関連を観察しましょう」

(2)「副作用が出ているので、お薬を止めましょう」

(3)「お薬が効いてきたら、好きなようにさせてあげましょう」

(4)「転倒の危険があるので、目を離さないようにしましょう」

3) 妻は「今後もできる限り自宅で介護したいが、病状が進行してどんどん動けなくな

ってきて不安です。機能訓練すれば動けるようになるかしら」と話した。妻の不安を緩

和するための訪問看護師の行動で適切なのはどれか。

(1) 長男夫婦に平日の機能訓練を依頼する。

(2) サービス担当者会議の開催を提案する。

(3) もう少しがんばって介護するように妻を励ます。

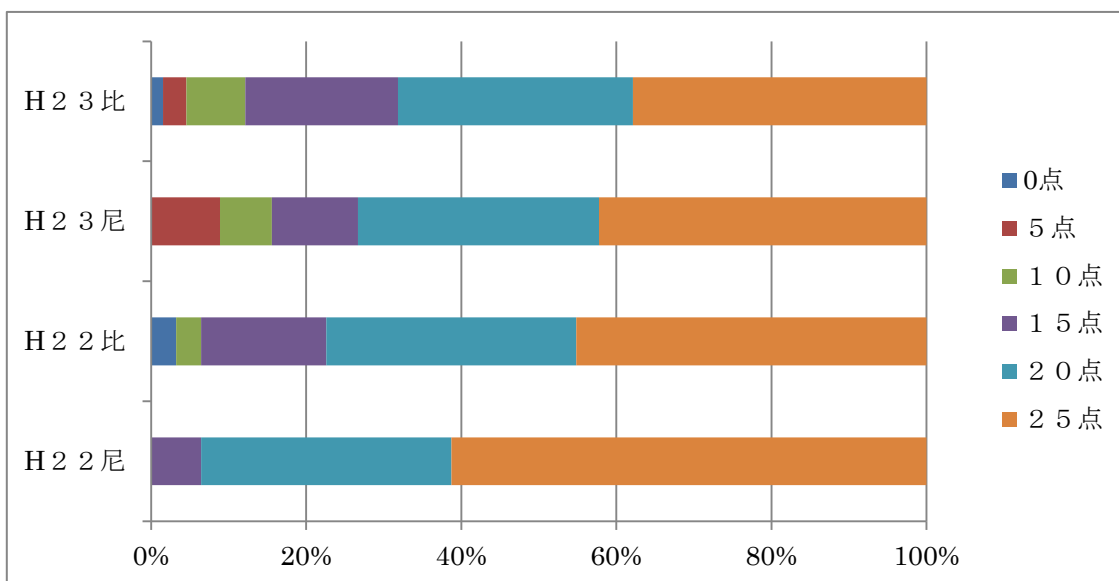
(4) 訪問リハビリテーションの適応ではないと話す。

(4) 日本語テストの状況

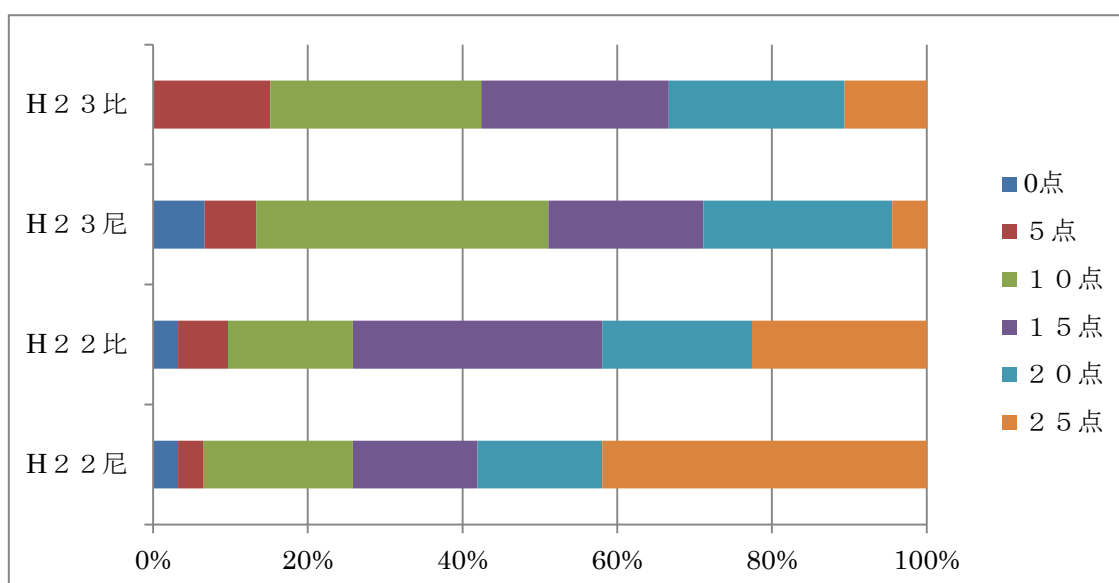
以下では、受入れ年度ごとに得点分布状況を比較した。また、日本語専門家による評価を行い、漢字の認識、語彙の意味の認識、長文の読解、看護知識の観点から、ABCランク付けをした。なお、ABCの評価に際しては、日本語テストの得点、解答へのプロセス等を勘案している。

<得点分布状況について>

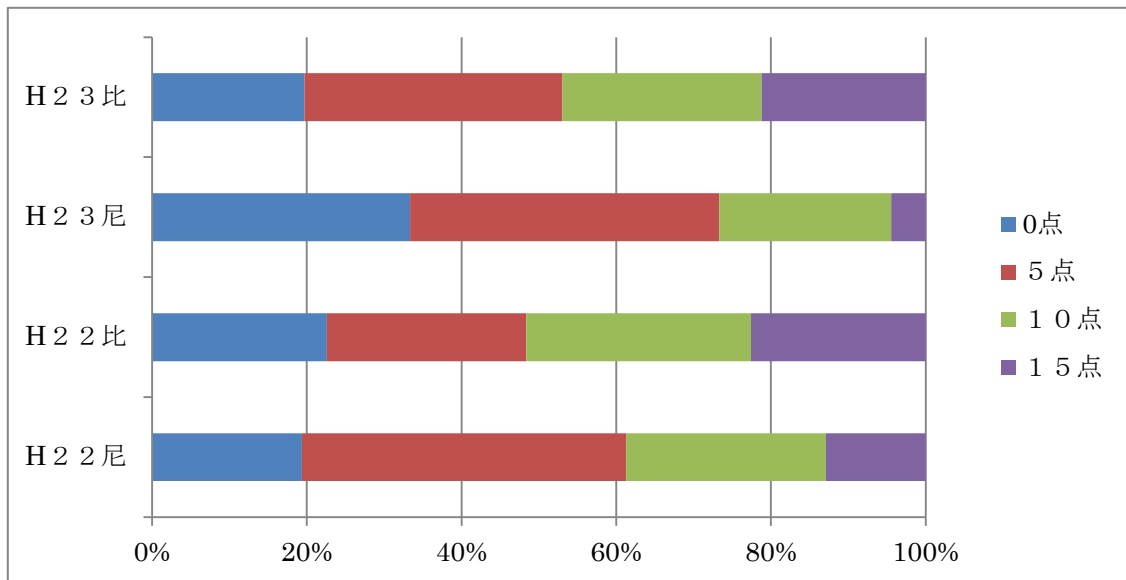
①必修問題(1問5点、全5問25点)



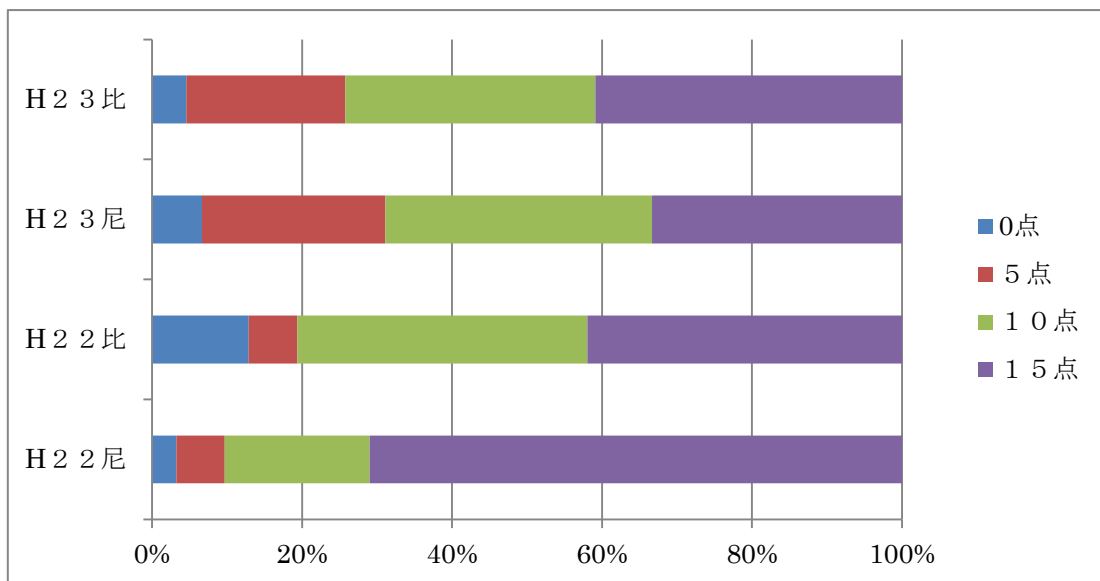
②一般問題(1問5点、全5問25点)



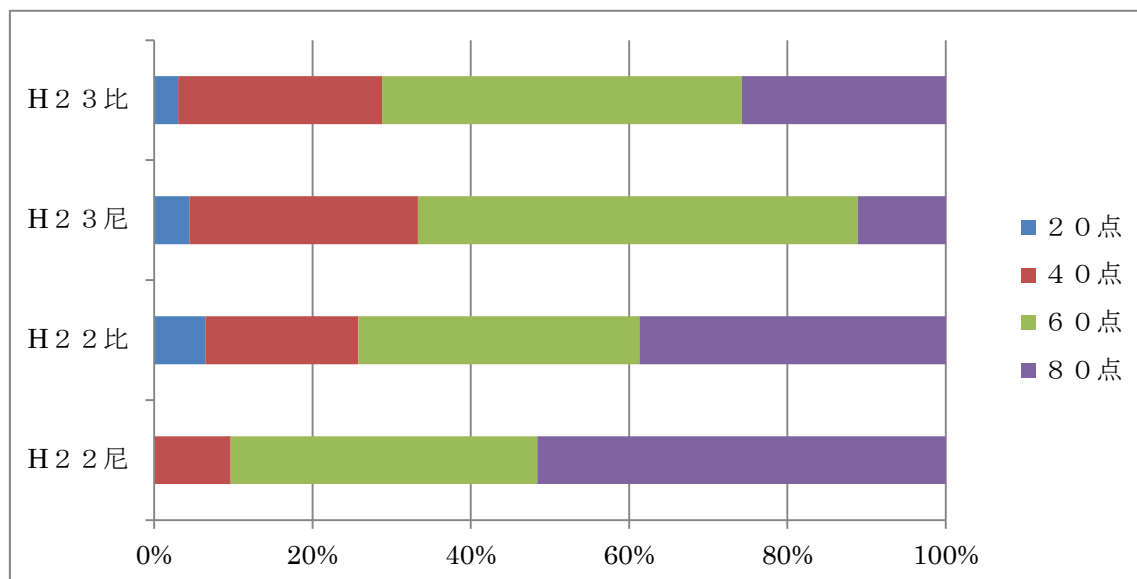
③状況設定問題(1問3点、全5問15点)



④状況設定問題(1問3点、全5問15点)

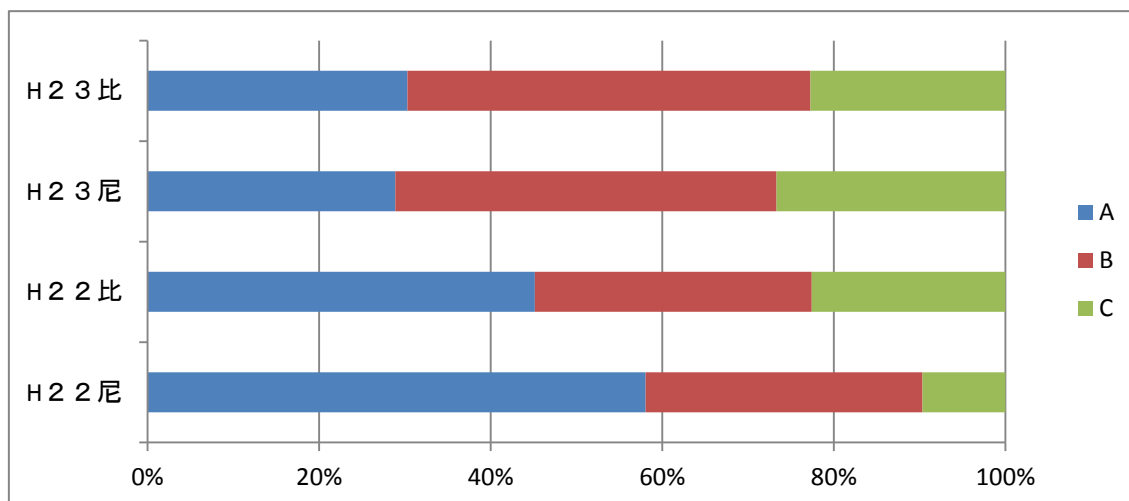


⑤全体(全20問、80点満点)



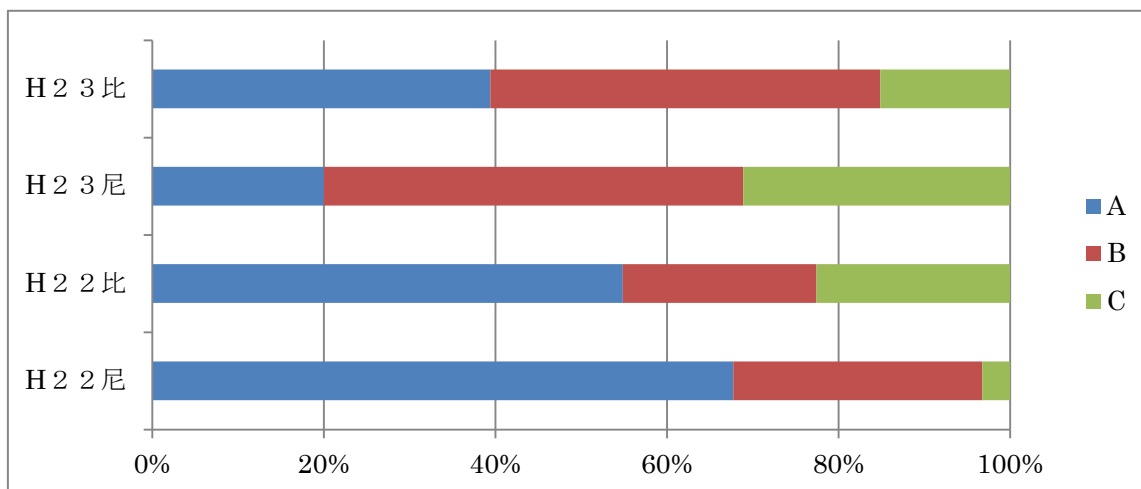
<日本語専門家によるABC評価について>

①漢字・語彙(専門)について



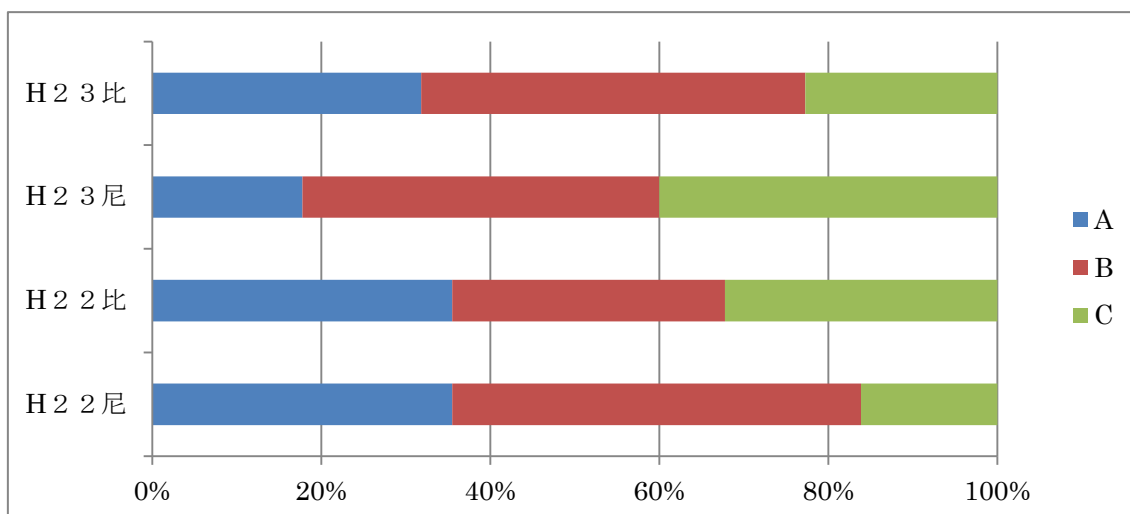
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
A評価	18件	14件	13件	20件	65件
B評価	10件	10件	20件	31件	71件
C評価	3件	7件	12件	15件	37件
未受験	1件	3件	0件	0件	4件

②漢字・語彙(一般)について



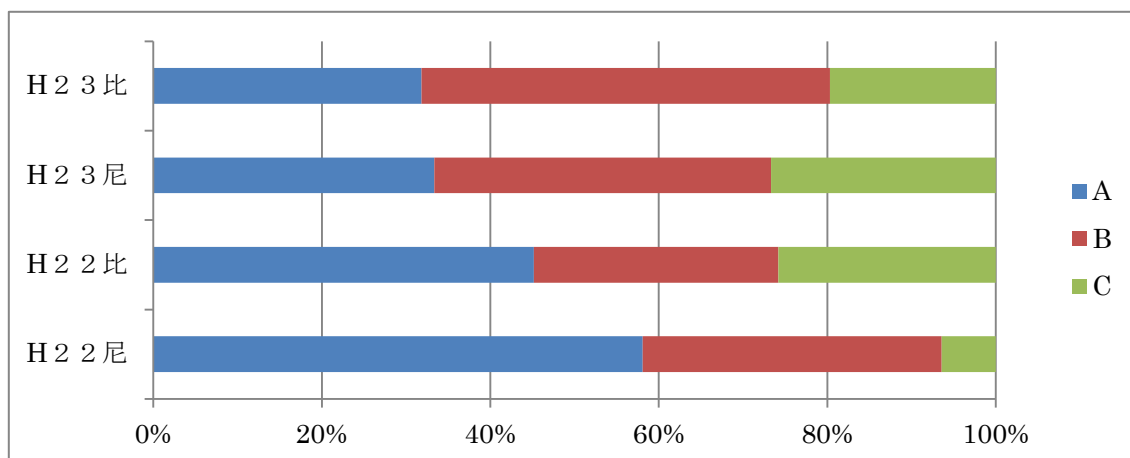
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
A評価	21件	17件	9件	26件	73件
B評価	9件	7件	22件	30件	68件
C評価	1件	7件	14件	10件	32件
未受験	1件	3件	0件	0件	4件

③読解について



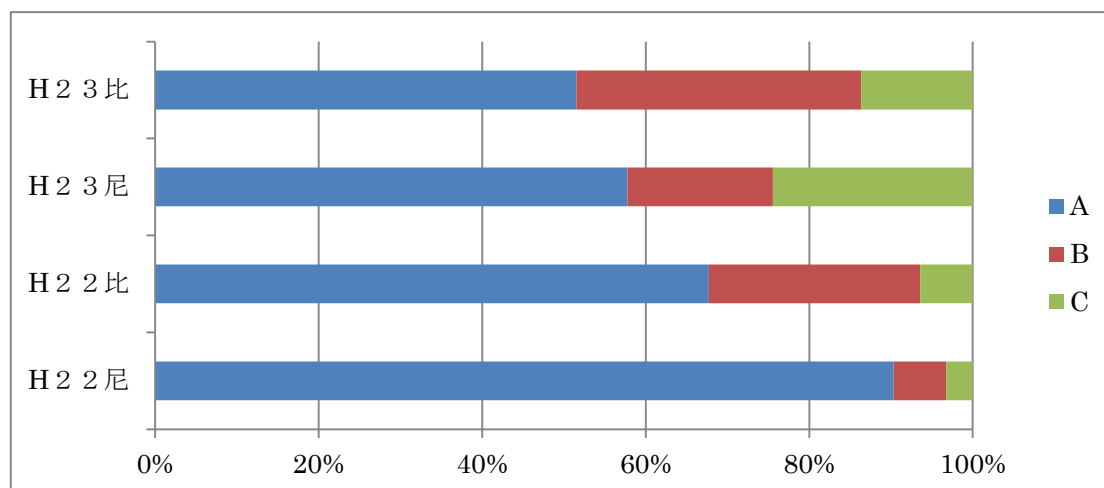
	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
A評価	11件	11件	8件	21件	51件
B評価	15件	10件	19件	30件	74件
C評価	5件	10件	18件	15件	48件
未受験	1件	3件	0件	0件	4件

④看護知識について



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
A評価	18件	14件	15件	21件	68件
B評価	11件	9件	18件	32件	70件
C評価	2件	8件	12件	13件	35件
未受験	1件	3件	0件	0件	4件

⑤看護日本事情について



	H22尼	H22比	H23尼	H23比	合計
A評価	28件	21件	26件	34件	109件
B評価	2件	8件	8件	23件	41件
C評価	1件	2件	11件	9件	23件
未受験	1件	3件	0件	0件	4件

以上